

受付年月日	1995年 月 日 ( 曜 )		午前 午後	時頃	来協・電話・郵便
情報 収集 者	氏名	男 女	才	状 態	
	住所	〒 _____			TEL ( )
依 頼 者	氏名	生年月日	年 月 日		代 才
	連絡先	〒 _____			TEL ( )
紹介者			備考		

【主 訴】

出産予定月日 月 日 (妊娠 月)

出産の状況 (初めて 2回目 3回目)

震災前に通院していた病医院名

現在の通院状況 (通院している 通院していない)

現在の体調 (良い 普通 悪い)

【対 応】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

受理→V募集、V紹介、送致( ~ )、Gや団体紹介、制度・施策紹介、  
中止、調整つかず、その他、保留、不受理

【備考】 \_\_\_\_\_

【受付】 \_\_\_\_\_

【担当】 \_\_\_\_\_

# 妊産婦のための母親教室 と 乳児育児相談

混乱の中で初めてお産を向えようとしているたまごママ、  
育児に不安を抱いているひよこママの心配ごととに専門の  
医師がお答えします。ぜひお越し下さい。 (無料)

日時 3月18日 (土)

9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

場所 神戸学生青年センター内  
スタジオ

交通 阪急六甲駅 徒歩3分

問い合わせ先

TEL 078-842-2122

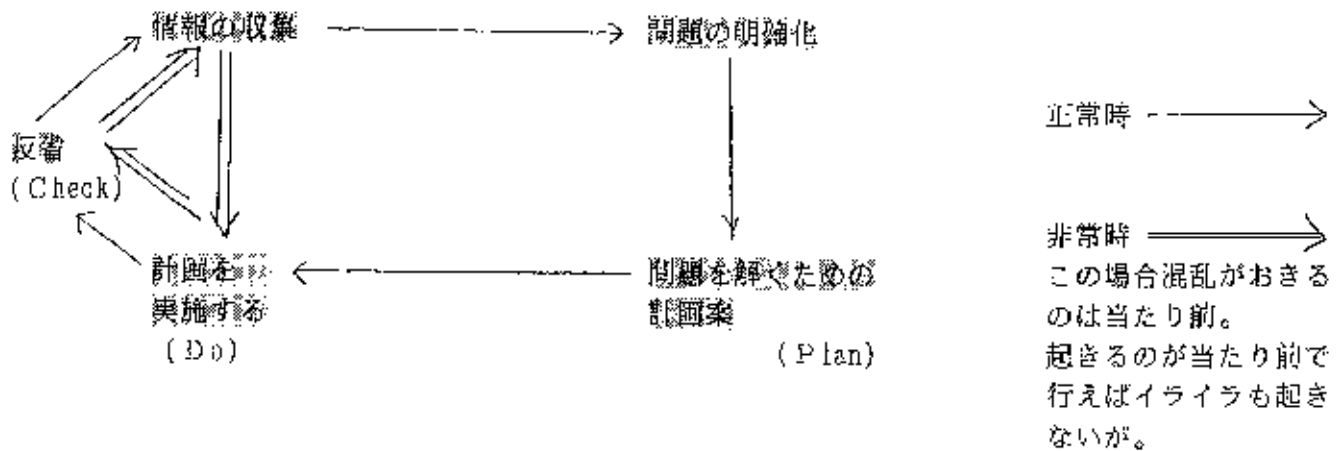
主催 灘区アマチュア無線ボランティア

後援 灘区保健所・灘区医師有志

参考資料 すでに皆さんにはお判りと思いますが何かの参考にお使い下さい。

JN3JLP 小坂

問題解決のPQSシステム (Problem Oriented System)



情報とは：判断、意思決定に役立つ「知識」「データ」を集める  
 但し「必要」という尺度で、ふるいにかける  
 しかし集めるのが目的ではない  
 今必要とするもの、役立つもの、目的にかなったものに的をしぼって情報化する  
 不必要な知識・データは、思いきり良く捨てる

情報収集方法

現場情報：自分で現場に出かけて情報を集める方法

現場には生の情報が沢山あり、自分の目で良く確かめ、必要なものを選び出そう

人脈情報：口々接触している人からも価値あるじょうほうが多く得られる

人はそれぞれ、自分とどこか異なった体験をしている。それだけに、積極的に、多くの人々と接触すれば多くの情報を手に入れることが出来る

活字情報：新聞、雑誌、情報誌等ばく大なものがある。

短時間で目標達成していくには必要情報だけ厳選する

問題とは何かのまとめ方

聞き取り方法

- 1) 生活環境
- 2) 仕事の環境
- 3) 嗜好、食習慣
- 4) 社会的
- 5) 心理的
- 6) 経済的
- 7) 身体の障害
- 8) 家族環境

- 1) 本人の氏名でおこなう (例) 小坂さん、小坂のおじいさん等
  - 2) 要件を手短かに言い、相手に多く話してもらう
  - 3) 言葉の間に必ず「あいずち」をする (例) それは大変ですね
  - 4) 安易な妥協はしない(依存心を植え込むから)
  - 5) 対等な立場で行う
- 聞き取りは人と人がコミュニケーションする事で、まず自分をさらけ出す事で相手の心が開かれます

## 1. 「NGO」とは？—定義とその組織としての性格

### (1) 非政府団体（民間団体）としてのNGO

- 「政府」
- イ) 政府組織・・・省庁
  - ロ) 地方公共団体・・・都道府県、市町村
  - ハ) 政府機関（＝特殊法人）・・・公庫、公団、事業団など

### (2) 非営利・公益団体としてのNGO

- 「非営利」・・・団体の関係者（役職員、会員、寄付者等）に団体の利益を分配したり、財産を還元しない。
- 「公益」・・・不特定かつ多数の者の利益。
- （民法第34条 祭祀、宗教、慈善、学術、技芸）  
但し以下のものには、公共性が無いとみなされる。
- イ) 同窓会、同好会の構成員相互の親睦、連絡等
  - ロ) 特定団体の構成員、特定職域のものを対象とする福利厚生、相互救済等
  - ハ) 後援会等の特定個人の精神的、経済的支援等

#### 参考

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 営利・公益団体（公共企業）    | ：電気会社、ガス会社、鉄道会社等 |
| 非営利・非公益団体（中間法人？） | ：協同組合、労働組合、共済組合等 |
| 営利・非公益団体（営利企業）   | ：株式会社、有限会社等      |

### (3) ボランティア団体としてのNGO

事業、活動、運動の方針、運営、財源などが広く一般の市民（個人、グループ）の自発的な参加、協力、支援によって成り立っているもの。

#### 参考

外郭団体・疑似NGO  
法律上は「非政府」であるが、事業の方針や内容が「政府」の代行・補完を目的としたり、事業の運営や財源について「政府」の補助・支援を受けているものは国際的にはNGOとは見なさない。

### (4) 第三セクターを担う民間公益活動体としてのNGO

- 第一セクター：公共部門（主体：公共機関、財源は税金）
- 第二セクター：民間営利部門（主体：企業、財源は企業資本）
- 第三セクター：民間非営利部門（主体：市民、任意団体、公益法人等、財源は個人又は団体の寄付）

#### 参考

民間公益活動（Philanthropy）：不特定多数の利益の促進を目的とする民間の社会活動

3 R4b91

109017で

10前使用した備子で

参考は107211

1078

## 2. NGOの理念、方法、そして効果の特性（一部国際NGOを混同する）

### （1）理念の特性

#### イ）「中立性」の堅持

政治、宗教、イデオロギーに関して、ある特定の意見や権益を活動に反映させないことにより、国境、宗教、体制を越えた協力活動を志向する。

#### ロ）「人類益」の追求

ある一国の国民の安全と繁栄を保護するという国家的制約に拘束されることなく、地球市民としての人道的立場から地球社会の自由と平等を目指して、地球的課題に取り組む。

#### ハ）民衆レベルの「連帯」

発展途上地域の草の根の人々を相互学習的な協力活動のパートナー（共働者）として、彼らが直面する問題やその解決の課程、そしてその結果を共有する。

### （2）方法の特性

#### イ）組織としての「機動性」と「柔軟性」

発展途上地域の状況に対して、組織として素早く対応でき、プロジェクトも現地のニーズの変化に柔軟に、かつきめ細かく対応できる。

#### ロ）プロジェクトの「経済性」と「効率性」

一般的にプロジェクト規模が小さいにもかかわらず、比較的大きな効果や波及効果をもたらすことができる。

#### ハ）「適正技術」の導入

協力活動の際に導入される技術は、その技術の優劣や能率でなく、その環境にたいする適否が最優先される。

#### ニ）「環境的側面」の重視

経済的環境の改善と強化だけにとどまらず、むしろ自然環境や生態系の保全、及びその地域の人々の文化・伝統・習慣といった社会的・文化的環境を重視する。

#### ホ）対象地域の人々の「主体性」や「自主性」の尊重

プロジェクトの立案、実施、評価のそれぞれの段階に、その地域の人々が主体的に、自主的に参加することを尊重する。

### （3）効果の特性

#### イ）貧困層・最貧層の「ベーシック・ヒューマン・ニーズ」（人間としての基本的ニーズ）の充足。

発展途上地域の大部分を占める貧困層や最貧層の人間としての基本的ニーズを充足する。

#### ロ）民衆の「自助自立」の促進

援助による精神的依存構造を打破し、発展途上地域の草の根の人々の自助、自立を促進する。

#### ハ）「開発教育」との連動

発展途上地域でのNGO活動の経験は、北側諸国の国内における開発教育に連動する。それは、従来の価値観や生活様式を問い直し、新しい地球社会の実現に貢献する。

### 3. NGOの語源

#### (1) 「GO」と「NGO」

- イ) GO (Governmental Organization) : 政府機関
- ロ) IGO (Inter-Governmental Organization) : 政府間機関 (国際機関)
- ハ) NGO (Non-Governmental Organization) : 非政府組織 (民間団体)
- ニ) INGO (International Non-Governmental Organization) : 国際NGO

#### (2) 国連用語としてのNGO (参考: 「国連とNGO」 福田 菊・三省堂1988)

##### イ) 国連憲章第71条

「経済社会理事会は、その権限内にある事項に関係のある民間団体と協議するために、適当な取り決めを行うことができる。この取り決めは、国際団体との間に、また適当な場合には、関係のある国際連合加盟国と協議した後に国内団体との間に行うことができる。」

##### ロ) ECOSOC決議1296: 「民間団体との協議取り決め」

「政府間協定によって成立したものではない国際団体を協議取り決め対象とする。」  
・・・この定義に該当するにもかかわらず国連では実際上除外されているのは、営利団体、政党、基金の類である。」 (同書p23-24)

##### ハ) 国際団体名鑑 (国際協会連合: Union of International Association)

- ①目的 真に国際的な目的を有していること。
- ②メンバー 3ヶ国以上の個人または団体が、完全な投票権を得て会員となっていること。その団体の活動分野での有資格者(団体を含む)に加入が開かれていること。
- ③規約を有し、管理機関および役員を会員が定期的に選出すべきこと。本部事務所を有し、活動に継続性があること。
- ④役員 一定期間すべてその役員を同一国民が独占している場合には、本部所在地、ならびに役員を一定期間ののち、持ち回りとしていること。
- ⑤財政 活動資金の実質部分を3ヶ国以上から得ていること。会員への利益配分を意図しないこと。(同書P2-3)

#### (3) 狭義のNGO (PVO: Private Voluntary Organization)

##### イ) 「NGOダイレクトリー-国際開発協力に携わる民間公益団体」 (NGO活動推進センター編集: 1988年収録の「カテゴリーI」の基準)

- ①民間の主導により設立されたもの。(一般の市民もしくはグループの発意)
- ②国際開発協力(開発協力事業費が全事業費の2/3以上を占める)を主目的とするもの。
- ③主たる財源が民間からの拠出金であるもの(民間からの寄付金、会費、寄付金、民間財団等からの助成金が全収入の50%以上を占めるもの)

##### ロ) 「PVOの登録条件」 (米国国際開発庁資料)

## ボランティアとは？

### 辞書用語

Volunteer: 公共の福祉活動事業に、自主的に無料奉仕で参加する人(活動) ・ ・ 広辞展  
: 志願者、篤志家、

### 実用語としての解釈

「困っている人に、余裕のある人が何かを与えて助けてあげるもの」  
「無償の献身」「聖職」「聖域」

### 変化してきたボランティアの定義

本質は「自主性」「自発性」が原則なので自分の出来る範囲での参加です。  
その行為は、人を抑圧したり、搾取したりすることのない、対等の関係を創り出すための自発的な行動としています。

それは一つ一つは小さい力ですが、さまざまな問題を抱えた市民社会から県、国、ひいては国際社会に働きかけ、地域社会を変革し、又は世界を変えていく行くことになります。

この活動は多種多様な人との関わりから始まりますので「意外な展開」に発展していく可能性を秘めています。つまり自分一人では到底出来ない様なことが当然の様に出来ることがあります。そこでは成り立つ人間相互のつながり方が現代の社会・経済システムでの役割を越えたものが出来てきます。

まず自分から動く、それにより「ふさわしい場所」ができれば、誰かの力が流れ込んでくる。つまり新しい価値を発見する事ができるのです。

その意味ではボランティア活動は「不思議」でも「意外」でもなく「動的な情報」が発生するネットワークです。

しかしボランティアは自分から動くことで大きな力を与えられますが、一方、時には自分自身を辛い、やっかいな立場に置くこともしばしばあります。

「ひよわい」とか「他から攻撃を受けやすい」「傷つきやすい」とか・・・これは「自分」と「相手の問題」を切り離さないという関わりかたがそこにあるからです。

しかしそんな状態にあえて身を置いても、意外な展開や不思議な魅力のある関係が在ることを、ボランティアは経験的に知っています。

また情報も一面多くの「ひよわさ」をもっています。ですから人々を繋ぐ力があります。「動的情報」が次々に発生するとき、その力の源には情報の「ひよわさ等」があるのではないかと思います。

ボランティアがネットワークであるのは、自分自身を「ひよわさ等」に置くことで繋がりをつけるからに他ならないとおもいます。

## よく使う用語

ODA (Official Development Assistance) : 政府開発援助

OECF : 海外経済協力基金 (ODAの内二国間政府貸し付けを主たる業)

JICA : 国際協力事業団

JOCV : 青年海外協力隊

DAC : OECF 開発援助委員会 (経済協力開発機構の下部組織)

OPEC : 石油輸出国機構

UNICEF : 国際児童基金

UNESCO : 国連教育科学文化機関

UNEP : 国連環境計画

WFP : 世界食料計画

WHO : 世界保健機関

UNDP : 国連開発計画

GNP : 国民総生産

NPO : 非営利団体

CVO : 企業ボランティア活動 (Corporate Voluntary Operating)

## 日本政府の援助の理念

### 援助の国際的理惑

#### ①相互依存関係

国々はいろんな面でお互いに依存しあっている。

#### ②人道的配慮

富める国が貧しい国に対して支援する事は当然の事という人類共通の福祉の考え

### なぜ援助が必要か

#### ①経済大国としての立場

#### ②世界第一の債権国ないし黒字国としての立場

#### ③高い対外経済依存度

#### ④平和国家としての立場

#### ⑤非西洋国家としての唯一の先進国としての立場



国際開発協力関係民間公益団体補助金と国際ボランティア預金寄付金のレジメ

関西関係	外務省関係	5団体	3,442万円 (全国比9.2%)	全国	31団体	37,400万円
	郵政省関係	8団体	6,329万円 (全国比3.0%)	全国	185団体	218,583万円
合計			9,771万円 (全国比21.5%)			255,983万円

外務省補助金交付 37,400万円 (17%)

郵政省 寄付金 218,583万円 (83%)

1993年02月25日

関西関係10団交付金の決算金額総額 (1990年) 45,461万円

57.127 1991

その内 9,771万円の交付、又は寄付金を受けている。約21.5%の比率である。

11.666

1990年 1992  
 1990年 5,610 12,448 + 4

フィランソロピー：語源は人類愛

個人や企業が広く社会全般の公益の為に寄付を行ったり、ボランティアとしての労働力を提供する事を意味します。

この原点は、個々人の多様な価値観を認め、政府とは異なる立場からそれぞれ公益的な問題にかかわり、その多元性こそが社会全体の福祉、厚生の上に繋がります。

公益法人の設立

このフィランソロピーの実践は、企業財団・個人財団の公益法人が大きな役割を果たしています。

民間が自主的な立場から公益的な活動を実施するのがフィランソロピーの趣旨ですから、この認可や認定に政府及び官庁が口出しするのは望ましくありません。

日本では、公益法人の設立には、あらかじめ目的を特定、細分化し、活動の内容や範囲を限定した上で主務官庁が許可する仕組みになっています。

民間の独自の立場から公益性を追求しようとするフィランソロピー活動を、政府が公益的であるか否かを判定すると言う矛盾があります。

寄付金税制

寄付した企業、個人の控除が関心事

公益法人税率の適用

ある国の例

寄付者の税制上の優遇処置はありません。

寄付された公益法人が手続きすると、寄付金に対して課税された税金分が寄付を受けた法人に政府より還付されます。

任意団体でも公益性があれば承認を得て寄付金控除が受けられる。審査は目的と活動範囲

日本の現状	・ 社団法人 人がもと	自動的に特定公益増進法人になれない
公益法人	・ 組織運営や財政規模が審査対象	(更に大蔵大臣の承認が必要)
	・ 財団法人 財産がもと	社会福祉法人は自動的に特定公益増進法人になれる。

社会的信用が増す

税制の優遇 (27%の課税) 一般の法人税率は37.5%

大阪府社会福祉協議会  
阪神大震災ボランティア行事保険  
のご案内  
(天災危険補償)

○特長

- ①阪神大震災へのボランティア活動を支援する為に、ボランティア全員に大阪府の補助でボランティア保険（Bプラン）を契約することになりましたが、活動中の「地震、津波」によるケガは補償されません。そこで、余震等による「地震、津波」の被害を補償する「阪神大震災ボランティア行事保険」を創設しました。
- ②「阪神大震災ボランティア行事保険」は、ボランティア活動中に通常の事故によるケガの他、余震等による「地震、津波」の被害も補償します。
- ③賠償責任については、ボランティア保険（Bプラン）で補償する為、「阪神大震災ボランティア行事保険」では、補償しません。
- 注）ボランティア保険では、地震による賠償責任は支払いの対象外です。

④補償期間は、1ヶ月までですのでご了承願います。

（1ヶ月を超える場合は、当社迄までお問い合わせ下さい。）

○補償金額

	死亡	400万円
保	後遺障害	12～400万円
害	入院日額	8,000円
保	通院日額	2,000円
険	手術保険金	3万円～12万円（1事故1回）
	付添看護保険金	1,500円（1日あたり）

① 保険の種類	天災危険	賠償責任
① Aプラン	ナシ	アリ
② Bプラン	ナシ	アリ
③ 阪神大震災 ボランティア保険	アリ	ナシ

○保険料

日 程	1名あたりの保険料
宿泊なし(1日のみ) かつ参加者が50名以上	1,225円
1日のみ(50名未満)より 3泊 4日まで	1,392円
4泊 5日から 6泊 7日まで	1,444円
7泊 8日から 13泊 14日まで	1,539円
14泊 15日から 1ヶ月まで	1,768円

(例)  
50人以上  
この場合は、名簿は  
不要です。  
 $1,225 \times 50 = 62,500$

(例)  
 $1,768 \times 10 = 17,680$

○加入手続き

- ①従来のボランティア活動行事保険の申込書及び振込用紙を使用願います。
- ②上記申込書及び振込用紙に「天災危険担保」と必ず明記下さい。  
(記入がないと通常のボランティア行事保険との区別がつかなくなります。)
- ③名簿は、申込書に添付して下さい。

加入手続きは

もよりの市町村社会福祉協議会及び大阪府社会福祉協議会へ  
大阪府社会福祉協議会

大阪府中央区中寺1-1-54(大阪府社会福祉指導センター内)

TEL 06-762-9471 FAX 06-764-5374

専任連絡先

住友海上火災保険株式会社 任意引継ぎ総合補償制度 担当 島本

TEL 06-252-4519



大阪府社会福祉協議会 御中

様式 A-3

[平成5年改訂]

# ボランティア活動行事保険加入申込書

下記行事につきボランティア活動行事保険を申し込みます。

(受付社協)

社会福祉協議会 No

※記入者は、下記枠内のみ記入して下さい。

行事主催者名				申 込 日	
				年 月 日	
代 表 者 名					
代 表 者 住 所		〒			
電 話 番 号		( )			
行事区分 (I-II)	行事実施予定日	行事名・行事場所	参加予定 人 数	1名あたりの 掛 金	合計掛金
	月 日 月 日		人	円	円
	月 日 月 日		人	円	円
	月 日 月 日		人	円	円
総 合 掛 金					円
<p>※Ⅰ型(宿泊なし)とⅡ型(宿泊あり)とは明確に区別して下さい。</p> <p>※Ⅰ型の行事の申込人数は、1回の行事につき50人以上として下さい。 (掛金は1,500円以上)</p> <p>※Ⅱ型の行事には、別紙参加者名簿を添付してください。</p> <p>(注)行事が中止の場合に使用して下さい。</p>					
(中止となった行事名)		(中止の理由)			
(振込先)	銀行	支店(普通・当座)			
No	名義				

(市町村社協控)

Y

【この制度でお支払いする内容】

【Aプラン】 年毎1人 300円

【Bプラン】 年毎1人 500円

1) 傷害保険

◎ボランティア本人が活動中偶然な事故によりケガをした場合にお支払いします。

◎保険金額

- 死亡 500万円
- 後遺障害 15～500万円
- 入院 1日につき 3,500円  
(事故の日から30日限度)
- 通院 1日につき 2,000円  
(事故の日から180日のうち90日限度)  
(平常の生活業務に支障のない程度になれば対象となりません。)
- 手術保険金 35,000円～140,000円
- 付添看護保険金 1日につき 1,750円

2) 賠償責任保険

◎ボランティア活動中他人の身体や財物に損害を与えた場合にお支払いします。

◎お支払い限度額

- 対人事故 1名 6,000万円  
1事故 1億2,000万円
- 対物事故 1事故 500万円

3) 死亡見舞金

●ボランティア本人が活動中に死亡し、1 傷害保険の対象にならない場合にお支払いします。

◎保険金額

- 死亡 10万円

1) 傷害保険

◎ボランティア本人が活動中偶然な事故によりケガをした場合にお支払いします。

◎保険金額

- 死亡 1,000万円
- 後遺障害 30～1,000万円
- 入院 1日につき 5,000円  
(事故の日から180日限度)
- 通院 1日につき 3,200円  
(事故の日から180日のうち90日限度)  
(平常の生活業務に支障のない程度になれば対象となりません。)
- 手術保険金 50,000円～200,000円
- 付添看護保険金 1日につき 2,500円

2) 賠償責任保険

◎ボランティア活動中他人の身体や財物に損害を与えた場合にお支払いします。

◎お支払い限度額

- 対人事故 1名 1億円  
1事故 2億円
- 対物事故 1事故 500万円

3) 死亡見舞金

●ボランティア本人が活動中に死亡し、1 傷害保険の対象にならない場合にお支払いします。

◎保険金額

- 死亡 10万円

〈事故連絡先〉 事故発生日から30日以内にご連絡下さい

住友海上火災保険株・ボランティア総合補償制度

担当：島本 電話：06(252)4513

住所：〒541 大阪市中央区南本町3-5-14 有楽ビル3階



## 阪神大震災における救援、支援活動

活動：1月18日より神戸西市民病院に登録看護婦2名派遣、現在継続中

：1月18日からアマチュア無線局を持つ登録会員が長田区より24時間体制で非常通信をアマチュア無線で開始した。当初被災者の安否通信を主体に行うが区内は電気が切斷されたので9Vの電池式ハンディー機を用い出力2Wにより神戸市長田区から神戸市灘区に中継し更にそこより大阪府吹田市に送りここより電話により被災者の安否情報を3日間おこなった。取扱件数は長田区225、灘区256、東灘区129であり吹田市からの電話連絡は近畿圏のみならず全国一円に610ヶ所に及んだ。

無線機の出力が小さいのと、被災地の中継局の運用局長が各1名だった事及びアマチュア無線家に非常通信の理解が充分出来ていないため、終始混信妨害に悩まされ不本意な活動しか出来なかった。

：1月29日より当会が持っているネットワークを主体に（社）日本アマチュア無線連盟関西本部と連携して、長田区役所5F保健所に無線局を開設しAMDAと協同で24時間体制で被害状況、被災情報、避難場所の生活情報、物資調達情報、緊急医療活動の通信業務、をおこなっていたが、2月6日より緊急医療体制を解除し順次医療は地域の医師会に移行させ、現在は主として日常の救援活動ボランティアの円滑な活動（避難所間の物資の充足状況、運送のための交通情報、迅速な連絡等）を補佐するための後方通信、情報収集等の活動をおこなっている。

又行政の連絡を各避難所に正しく、迅速に伝えるための通信活動も合わせておこなっている

：以後東灘区の保健所（2月24日現在は住吉小学校）神戸学生青年センターに基地局を開設し、現在は別表の様に13局が設置され活動している。

：災害発生3日位は安否情報（1月17日－20日）

：1月18日－2月 1日頃は避難所情報、緊急物資情報、緊急生活情報

：2月 2日－2月 9日頃は緊急が解かれた上記情報

：2月10日－2月17日頃は生活のプライバシー情報、仮設住宅、生活用

品の価格情報、入浴情報、等

- : 2月18日ー現在は上記のほか、指定避難所から外れざるを得ない单身及び夫婦の高齢者、身体障害者と家族、乳幼児を抱えた家族、妊産婦の家族協同生活が出来にくい人々の調査を各地区の福祉協議会、保健所、ボランティアと連携を組んで1軒1軒調べ、生活用品、食事等で緊急を要する場合は無線を使用して緊急食料、避難、入院の手配等に対処している。
- : 2月18日現在で無線局基地13カ所、活動無線局長約200名
- : 迅速で正確な通信活動の利点を理解していく中で、各種救援活動団体と連携しさらに、情報活動のネットワークを広げて行きつつある。
- : 当会はメンバーが少ないので団体独自の直接活動は出来ないが、バヌアツ共和国で活動経験した、僻地医療の方法、生活環境の変化の対応、排泄の方法、通信手段等の経験がフルに生かしている。又通信を媒体にして各種の海外協力団体、市民団体、ボランティアグループと連携し有意義な活動を模索しながら行動している。

バヌアツに医療を送る会

大阪府中央区心斎橋筋1-4-28

大宝ビル2F

TEL 06-252-1420

FAX 06-252-0492

担当 小坂 雄二

参考迄に別資料共で合計3部FAXいたしました。



## 阪神大震災における救援、支援活動

活動：1月18日より神戸西市民病院に登録看護婦2名派遣中

：1月18日から登録会員が長田区より24時間体制で非常通信をアマチュア無線で開始し被災者の安否情報を3日間おこなった。

：1月29日より（社）日本アマチュア無線連盟関西本部と連携して、長田区役所5F保健所に無線局を開設しAMD Aと協同で24時間体制で被害状況、被災情報、避難場所の生活情報、物資調達情報、緊急医療活動の通信業務、をおこなっていたが、2月6日より緊急体制を解除し現在は主として日常の救援活動ボランティアの円滑な活動（避難所間の物資の充足状況、運送のための交通情報、迅速な連絡等）を補佐するための後方通信活動をおこなっている。

又行政の連絡を各避難所に正しく、迅速に伝えるための通信活動も合わせておこなっている

2月10日現在で無線局基地8カ所、活動無線局長約200名

：迅速で正確な通信活動の利点を理解していく中で、各種救援活動団体と連携しさらに、情報活動のネットワークを広げて行きつつある。

パヌアツに医療を送る会

大阪市中央区心斎橋筋1-4-28

大宝ビル2F

TEL 06-252-1420

FAX 06-252-0492

担当 小坂 雄二

参考迄に別資料共で合計3部FAXいたしました。

平成7年2月10日

市民の会事務所 御中

毎日ご苦勞様です。

関西国際協力協議会（関西NGO協議会）のメンバーでもある「バヌアツに医療を送る会」では災害以後、情報の収集、伝達、そのフォローに「日本アマチュア無線連盟」と連帯しネットワークを組んで運用しております。

このネットワークのフォロー調査を別紙のように行います。つきましては何かこのネットワークをご利用いただけるならば幸いと思いきご迷惑にならない範囲で2月11日（土）午前9時頃、公同教会 にお邪魔し少しの時間に情報交換をさせて頂きたく宜しく願いいたします。

尚 情報基地局の一覧も参考迄にFAXいたしました。

敬具

バヌアツに医療を送る会  
大阪市中央区心齋橋筋1-4-28  
大宝ビル2F

TEL 06-252-1420

FAX 06-252-0418

担当 小坂 雄二

関西NGO協議会加盟団体

阪神大震災救援活動一覧

団体名	各団体の被害状況	救援活動の拠点	活動の内容	対象	規模	最も必要とされている事
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	役員、会員が被災 職員は無事		情報収集、募金活動、生活用品の提供 中・定期的な支援活動を目指し情報収集中	地域住民	総数:200 ボランティア: 100名程度	正確な情報・ニーズの把握 現地で活動している団体の 情報
アジア保健研究所 (AHI)	なし	西宮市中央体育館	現地救援活動、救援物資運搬、情報収集 募金活動、生活用品の提供、医療救護 救援物資の募集、コーディネーター派遣	地域住民 在住外国人		
国際エンゼル協会	特になし	国際エンゼル協会	救援物資運搬、募金活動、 生活用品の提供、救援物資の募集 等出し	地域住民 会員	総数:不確定 ボランティア:150 職員:	
日本国際 児童救済機構	本部の破損 職員、ボランティアは無事		団体として救援活動には対応してい ないが、会員へのよびかけに役立ちたい			
日本国際 児童救済機構	4名が被災	尼崎、西宮、芦屋 神戸市港区	現地救援活動、救援物資運搬、情報収集 募金活動、生活用品の提供	地域住民 会員	総数: ボランティア:15 職員:4名	正確な情報 他団との連携・協力
アジア協会 アジア友の会	ビルに亀裂 事務所内の散乱	大塚事務所 東灘のスタッフ宅	現地救援活動、救援物資運搬・募集、 募金活動、生活用品の提供、情報収集	会員、外国人 住み(家族)	総数:400 ボランティア:(50 職員:1	被災者の中でボランティアになる 人を求め、両国の被災弱者 救援の契になってもらうこと
大阪YWCA	会員で死亡1名 会館は被害なし	大阪YWCA 神戸YWCA	ホームステイ、救援物資運搬・募集、 情報収集、募金活動、生活用品の提供 医療救護、その他たくさん	会員、外国人 住居(障害者 高齢者など)	総数:不確定 ボランティア:200 職員:8	ボランティアのオーガナイ ズと後援手段の確保
パタアツに 医療を運ぶ会	特になし 会員5名が被災	神戸市医師会救護センター 巡回診療 西宮民病院	情報収集、医療救護	地域住民	総数: ボランティア:6 職員:3	
日本キリスト教 海外医療協力会 (JOCOS)	事務所が散乱 ほか特になし	JOCOS関西事務所	医療救護 小学校を中心に診療所開設と修繕	地域住民	総数:多数 ボランティア: 100名程度 職員:0(1/22)	医療チームを遠方より 奥へ送ること、運転手の 確保
関西セミナー ハウス	特になし	関西セミナーハウス	ホームステイ、救援物資運搬、 情報収集、募金活動、情報提供	外国人 母子(父子) 家族		
神戸学生青年 センター	建物に亀裂 水道・ガス不通	神戸学生青年 センター	ホームステイ、情報収集・提供 留学生の生活資金援助	留学生		
大阪YMCA	会館の亀裂 調理師の被災	大阪YMCA 西宮YMCA	大阪ボランティア協会、地域調査 計画院研究所等が主体となり 「応援する市民の会」を結成			

国際子ども権利センター：独自の救援活動は行っていないが、協力関係のネットワークを通じての支援を行っている。

京都NGO協議会：大阪YMCA、西宮YMCA、神戸YMCA、大阪YWCA、JOCOSの活動をPAXをもつ団体に紹介した。また、京都ボランティア協会を通じて募金、ホームステイ受け入れを申し入れている。また京都府立大学の受講生からのボランティア希望者がいる。

アジア保健研究所：3月以降は救護所も一段落するので、被災者を中心とする保健事業に重点を置き、活動を検討する。NGOとして単独・別途に復興協力をするのではなく、保健事業の基本システムと枠組みの責任をもって行政(保健所)を支え、強めるための「協働」が、現状では適切かつ必要と判断する。

阪神大震災地元NGO救援連絡会議：各方面からの支援が有機的、効果的に実施されるために神戸NGO協議会を基盤にこの会議を結成し、各々の連絡調整と活動支援を行っている。特に03行政の保護から離れ格ちている在宅被災者、小規模事務所への避難者、障害者などの社会的弱者の救護 ②零細企業主、小店主などの事業復興援助 ③海外外国人支援 ④伝統的職種の事業所に残る老い実者などを中心とする文化財の保護 を優先的に支援する。

団体名	代表者	電話番号(拠)	FAX(拠)	活動拠点
ア・ユ・ス 仏教国際協力ネットワーク 関西	渡田 貞博	06-771-7611	06-771-6913	大阪府大阪市天王寺区下寺町1-1-100
A・C・N・C・W	渡井 久仁彦	048-886-6122	048-886-6103	神戸市長田区
アジア・アフリカ地域協力センター (アセック)	飯谷 孝孝	030-92-31816	078-392-2361	神戸市長田区
アジア・オープン・ア・イズ・IC・N・G・O・グループ・東京・V・M	吉村 誠司	030-247-0056	078-735-6131	神戸市長田区
利用法人 アジア協会アジア友の会 神戸連絡所	村上 公彦	078-453-6099	078-453-6099	神戸市東灘区本山町7-1-16
おじあくらぶ	本 幸恵・員 尚浩	078-521-0593	03-3748-5086	神戸市長田区末栄町1-15
アジア福祉研修所 (A日)	池住 茂恵	05167-3-1950	05167-3-1990	愛知県日進市
あしなが育英会学生ボランティア	平田			
芦屋市ボランティア委員会		0797-31-2121(内2215)	0797-38-2162	芦屋市
A・B・A 山陽協力センター	近藤 新生	078-221-2733	078-221-2733	神戸市中央区堂島小南
アハマディナ		030-308-0089		
山陽地域ケアセンター研究会	小川 博	0780-22-3316	0780-22-0782	
Inter-Venet 慶應大学 プロジェクト	金子 加寿	0468-60-6935		神戸市
ウイメンズネットワーク: 女性支援ネットワーク	沢井 礼子	078-734-1308	078-734-1944	神戸市東灘区
魚住フリーマーケットの会	田坂 乃代子	078-946-4654	078-946-4654	
UVAボランティア会	江川			
A・A・A アミューズ	太田 晴彦	03-6485-2222	03-6485-2221	神戸市長田区
NGO活動推進センター	高見 敏康	03-3294-6370	03-3294-6368	
NFT	矢澤 雅雄	078-797-2310	078-797-2379	神戸市
DiWiC関西支部	柿岡 寛			神戸市灘区
応援する市民の会 西宮		0798-64-6710	0798-63-8710	
応援する市民の会 東灘	名賀	078-441-6435	078-441-6347	
大阪YMCA	田中 義宣	06-441-6598	06-443-0739	
大阪YWCA	荒野 恭佳	06-361-0838	06-361-2997	芦屋市
大村Group	大村 和志	030-27-21692	078-785-0004	神戸市長田区
ゆい・親民を考える会 DiViR	深木 正勝	030-628-2918		神戸市長田区
Operation USA	Richard Walden	1-213-658-8876	1-213-653-7846	8320 Wilross Ave#200 Los Angeles, CA 90001
外国人施設情報センター	丹羽 雅雄	06-941-4703	06-941-6875	大阪府大阪市中央区常盤町1-4-12 トキワ
外人ボランティア	矢澤 雅雄	078-797-2310		
加古川高砂援助隊	森田			
カトリック災復施設協会	井手 道雄	078-881-4185	078-861-6673	神戸市
カトリック大阪教区 阪神大震災復興本部	安田 久雄	030-923-6195	078-231-1896	神戸市
カトリック西教区救済基地	阿部 裕	078-731-8300	078-731-8300	神戸市
カトリック中法手藝会復興本部				
川市法人 神奈川県西交援協会	長川			大阪府
神奈川大学ボランティアチーム	今野 克哉	030-690-2807		
カリスマ親交会救済部	森谷 勉	06-363-2484	06-363-2484	
南城市民	木野 純史	075-211-7426	075-211-7404	
関西NPO協議会救済連絡会議事務局	平田 哲	078-711-2115	075-701-6266	
関西カルチャー・シジジター (KCS)	森本 正輝	036-92-06666		横浜
関西・日本ボランティア協会	山中 順夫	078-581-5617	078-581-5617	
がんばり漢語島ボランティア支援センター	野村 純弘	0790-26-0713	0790-72-3305	
がんばり男子陣	川田	078-605-2800	078-605-2801	神戸市
北野小学校ボランティア 南復興	栗田 義志	078-271-1746	078-271-1746	神戸市中央区中山手通3
キャンパス神戸	菅下 肇秀	078-271-1198		神戸市東灘区
京阪YMCA	瀬藤 哲	075-222-1021	075-222-1036	
近畿福音ルーテル援助隊	森田			
救済施設情報センター		076-577-2064		
地震復興大有志会 (ディセック)	塚田 義浩	044-656-8508		
賢治の学校 神戸センター	野村 純	078-331-0641	078-331-0687	神戸市中央区下山手通3-16-3
現地で働く人を支援する関西市民の会	佐々木 松井	06-306-2641	06-306-2641	
本願会ヤマギシ会 関西本部所	坂本 勉	0798-26-9633	0798-26-9634	神戸市東灘区
株式会社 本願の助け隊本部	大久保 みどり	06-363-2186	06-363-2184	
神戸響しの学校	川 純治	078-331-0641	078-331-0687	神戸市中央区下山手通3-16-3
神戸学生青年センター		078-661-2760	078-621-6678	
神戸キリスト教義援隊	森田	078-271-1775	078-232-0927	神戸市東灘区
こころ・絆	風来 良洋	078-821-4282	078-811-3924	神戸市西区竹の台1-21-72 橋本宅
神戸市立老人ホーム長寿園				
神戸友の会	高田 信司	078-331-8181(内2936)		神戸市中央区
神戸市女子中学・高等学校	橋本 力	078-311-0660	078-311-1882	
神戸YMCA本部		078-241-7201	078-241-3019	
神戸YWCA救済センター	藤辺 順子	078-231-6201	078-231-6092	神戸市中央区上筒井通1-1-20
同窓エンゼル協会	大野	0727-84-7604		
神戸子ども権利センター		06-375-6408	06-371-7804	
子育て支援ネットワーク		078-734-1308	078-734-1308	
同地無き援助隊		03-3306-8571	03-3306-8571	
コリアボランティア協会	康 秀峰	06-717-7301	06-717-7301	
関西アマチュア無線局 神戸JAMS	栗 勇治			神戸市長田区
在日大韓基村教会		030-928-2927	06-700-4824	
神戸入道北平小学校		030-902-1190		
神戸入道北平中学校		078-881-1071		
神戸入道セキ内通同子どもセンター	前田	030-687-8920	078-271-0637	神戸市
神戸市西野聖嬰幼稚園事務所		078-961-1277	078-961-2641	神戸市西区
JYVA 社団法人日本青年奉仕協会		03-3460-0211	03-3460-0388	
Ted Kitchen, Jr (個人)	Ted Kitchen, Jr			
中崎 直光 (個人)	中崎 直光	0668-72-0602		
森田 正史 (個人)	森田 正史			
山手 祐介 (個人)	山手 祐介			
吉野 達彦 (個人)	吉野 達彦	0978-23-2448		神戸市中央区

島原ボランティア協議会	宮本 寿国	0957-63-6118	0957-62-6011	
別荘復興センター	宗 道臣	030-813-6992	078-261-3163	
福田法人 少体連奉仕連盟	宮前 克之	030-786-3097	078-621-3721	
新志連青年会	前野 孝秀	06-641-8416	06-636-4766	
神大学生ボランティア	前野 孝秀	0798-61-9040	0798-61-9040	
セイクレッド・サン日本車体有	根越 山芳子	06-262-1149	06-262-8180	神戸市東灘区西宮
セーブ・ザ・ワールドレン ジャパン		06-261-6695	06-261-6698	
曹洞宗西宮ボランティア会(SVA)	市川 幸子	078-682-9226	078-682-9227	神戸市長田区松原通1-1-62
そして何の	上野 隆子	078-362-6961		神戸市中央区東明通1-3-6
太陽のイロ有樹	東条 茂子	078-593-6619		
高針小ボランティア				
たんぽぽの家 ヘルプネットワーク	酒井 隆子	0742-41-7066	0742-49-5601	神戸市中央区
チェルノブイリ救護・中継	寺町 みどり	052-836-1073	052-836-1073	
地球市民の会	吉賀 武夫	0962-24-3334	0962-29-1518	
中央区ボランティア	上田 敏晴	078-232-4111	078-222-6926	神戸市中央区
でんねん (NENEN)	石井 布紀子	0798-64-5829	0798-66-6261	西宮市西宮町
東京外大ライオン会		030-09-66966		
東京海上大学阪神大習友会方球(キヤンパオリア)	田口 朱球	030-217-2948		神戸市灘区船場町
東京ボランティアセンター	安藤 隆子	03-3216-1171	03-3216-0950	
とよなか田舎交流協会	葛西 美紗	06-843-4343	06-843-4376	大阪府豊中市北塚2-1-28
長田支援ネットワーク	中辻 直行	078-611-2163	078-611-2016	神戸市長田区船場町2-1-28
長田ボランティアグループ	香藤 潤	030-92-09214	078-679-2336	神戸市長田区
灘でやってるボランティア	中村 山紀子	030-92-97672		神戸市灘区
西神戸長田YMCA	高田 隆之	078-691-6899	078-691-9900	
西日本ルーテル協賛隊				
西宮青年会議所(西宮JC)	森田 隆子	0798-33-1616	0798-26-6202	
西宮市災害支援隊	上田 藤次郎		0792-77-3077	
西 宇治園球(七福園造株式会社)	大塚 敦規			神戸市西宮市
「2000年神の国」	井川 新	0726-34-0713	0726-34-0712	
日本ボランティアセンター	村上 隆子	078-362-4664	078-311-5026	神戸市中央区
Nifty-serve 1 岩井ボランティアフォーラム	小畑 雅秀	078-242-6900	078-242-9861	神戸市中央区北野町1-1-6
J A R I 西宮アマチュア無線ボランティア	松本 嘉和	078-651-2760	078-821-6878	神戸市灘区山田町3-1-1
日本アマチュア連盟兵庫支部	秋田 隆子	07914-2-2492	07914-2-4727	
日本ガットリット医務施設協会 医務灯扇本部	シスター末弘	078-661-4186	078-661-6673	
日本環境保護国際交流協会(J. E. E)	浅 香代子	078-662-9016	078-661-1362	神戸市長田区北野町1-1-1
日本キリスト援助隊	森田 隆子			神戸市長田区北野町1-1-1
田前法人 日本キリスト海外伝道協力会(JOCS)	加藤 上 麻彦	06-202-6266	06-202-0467	西宮市中央体育館
日本キリスト教団 兵庫教区	北里 秀彦	078-866-4127	078-866-4128	神戸市東灘区西宮
日本緊急救助隊	森田 隆子			
日本語学校教員ユニオン		06-481-2341		
日本中絶抗議行動連絡		0729-96-0123	0729-94-9100	
日本中絶ボランティアセンター(JVC)	林 達雄	03-3834-2588	03-3836-0619	神戸市長田区
田前法人 日本西灘民防協会	小野 了代	076-241-0681	076-241-0682	
社会福祉法人 日本身体障害者協会	竹内 嘉巳	03-6096-4611	03-6096-4616	東京都板橋区小渡町1-1-7
日本明会関西カエル部会		078-361-3463	078-361-3463	
日本ボートボランティアグループ	津原 友成	078-811-0511		神戸市灘区高野町
日本ボートボランティアグループ	加藤 誠	078-231-7187	078-231-7187	神戸市中央区市木通1-3-27
日本ラジオボランティア				
日本福祉大学 阪神大習友会者支援センター	村上 のぶちか	0669-87-3076	0669-87-6249	
日本モトローラー株式会社		06-306-7223	06-306-1422	
ボートセンター: パニオン	笠原 孝夫	0482-62-7806	0482-62-7487	
パニオンに国旗を返す会	岩崎 知佳子	06-262-1120	06-262-0192	
原島グループ	原島 由紀	0791-24-8160		
パレハレラシドリ				
阪神大習友会 阪神大習友会者支援センター	田中 秀雄	078-671-1442	078-671-9992	神戸市長田区松原通1-1-7
阪神大習友会 被災地の人を支援する市民の会	岡本 栄	0707-32-1306-1308	0707-32-1312	芦屋市
阪神大習友会 被災者支援センター		06-764-4368	06-764-4367	神戸市中央区
川口法人 川口協会	佐藤 賢	078-361-4892	078-361-4897	
ピニスポート		078-677-9099	078-677-0167	
ピニスポート マチスボボジスタ	百島 孝太	030-3116-2937		神戸市長田区
東灘地域助け合いネットワーク	中村 順子	030-844-1186(中村)		神戸市東灘区深江北町6-7-16
兵庫キリスト連合援助隊	森田 隆子			
兵庫ボランティアセンター	脇井 隆子	078-670-3004		
広島市青少年センター 青年ボランティア			082-228-7074	
日経平ニエニエ ネットタイツ	Inzoku-key Johnson	078-271-3060	078-272-1991	神戸市中央区北野町1-2-26
ヘルプネットワーク 介護ステーション	酒井 靖	078-242-4913	078-242-4913	神戸市中央区
ホーイスカウト大阪連盟	藤原 光徳	06-361-0761	06-361-8640	西宮市
原組	家藤 貞子	078-866-4127	078-866-4128	
脚形クリスチャンセンター		06-962-2694		
MEP: MEP				
メプナイト緊急援助委員会	大野 ミチ子	078-361-6300	078-361-6300	
関西・医療救済情報センター	原 公一	078-677-2064	078-677-2063	
南東 ちくちく	原 賢樹	078-871-7746	078-871-7740	神戸市灘区篠原19町2-41
女性役員会(長良)	池田 貞一郎	078-291-6371	078-261-1613	
RINK	吉尾 博	078-222-6376	078-222-6376	
ルーテル教会等7川岸本部事務局		078-232-0727	078-232-0727	
灘華院西灘協賛会	川原 英照	0968-73-4861	0968-74-1676	神戸市須賀区
YMCA西宮				
1-2ドリーム	金谷 英郎	078-621-1767	078-621-1767	神戸市長田区
糖 糖子(個人)	糖 糖子	078-793-2064		
瀬川 照子(個人)	瀬川 照子			
川原 元春(個人)	川原 元春			
高川(個人)	高川	0476-24-0700	0476-22-3046	

## 大阪青年

月刊 The YMCA 付録

編集・発行/日本YMCA同盟 東京都新宿区西早稲田2-3-18

大阪青年 発行人: 田中義宣 編集人: 林 正樹

〒530 大阪市西区土佐堀1-5-6 TEL.06-441-0694 FAX.06-443-0739

(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可



炊き出しボランティア



医療診療所開設

震災による被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

大阪YMCA

理事 坂口治男

常務理事 谷川 寛

理事 田中義宣

一月十七日早朝、阪神地区を襲った地震は私たちに物質的、精神的に多大なダメージを与えました。皆さまがたの中にも肉親やお知り合いをこの地震で亡くされたり、負傷されたり、ご自宅、職場等が倒壊また、破損の傷を受けられた方が多くいらっしゃることを思い、心痛の極みです。皆さまがたの上に神様の特別の恵みと平安が与えられますようにお祈りいたします。

私たちはこの震災の現実を受け入れるとともに、共に力を合わせて力強く立ち上がり、更により良い街づくりのための復興に向けて、心を高

### 『阪神大震災』救援・復興活動

大阪YMCAでは、地震のあった当日より救援対策本部を組織・社会奉仕センターおよび本部事務局内に設置し、神戸YMCA、日本YMCA加盟と連携して救援活動に乗り出しました。

まず、神戸YMCAの緊急依頼により現地にスタッフを派遣しYMCAとしての作業を検討しながら活動を開始し、それと平行して、大阪では、各地域YMCA、ワイズメンズクラブ、地域の方々へ救援物資の調達・収集協力の呼びかけ、給水手配、運搬車の手配と送り出し、現地での炊き出し、また、スタッフ・ボランティアの募集・派遣と活動を開始した。

同時に国際・社会奉仕センター内には、YMCAと大阪ボランティア協会、その他の市民団体との協力のもと、兵庫東部地域被災者の人々を「応援する市民の会」を発足し、幅広く一般にボランティア募集を呼びかけた。数日間に、〇〇〇名を越える方々からの反響があり、現在も問い合わせは毎日続いている。

#### 西宮YMCAを拠点に救援活動の輪が広がる

現在、大阪YMCAは日本YMCA救援本部を引き受け、西宮YMCAを現地拠点に活動を展開している。委員、教職員、リーダー、専門

ちが毎日ボランティア活動に励んでいる。その活動内容は多岐に亘るが、自給車での地域の方々への物資の配達、物資拠出基地の物品搬入整理、うどんや豚汁の炊き出し、給水サービス、子どもたちに対するゲーム・レクリエーション指導などである。その他にも有志の方々による医療診療所の開設、鍼灸ボランティア、人形劇団「ゼベット」による公演などが西宮YMCAで行われ、地域の人々に喜ばれている。また、西宮ワイズメンズ会員で大阪府立大学の倉石智也先生たちを中心に、ごどもの心のケアも西宮YMCAや西宮市民体育館遊戯所などで行っている。

援助物資も会員の方々や近隣の方々、全国のワイズメンズクラブ、地域の企業や商店などからも多数届けられ、被災地域に随時運び込んでいく。また、大阪北YMCAでは豊中支援センターの要請を受け、スタッフ、リーダーOBなどを豊中市内の被災地にも派遣している。ここに記載してきていないところでも多くの方々が多様な形で積極的に活動されている。緊急を要する援助物資協力の他にも、これから長期に亘るであろう地域復興活動および復興活動のために募金活動も開始され、多くの方々から協力を得ている。皆さまのこれらすべてのご奉仕に感謝してある。

阪神間に住む学生、先生、スタッフは無事なんでしょうか。

阪神間に住む学生、先生、スタッフは無事なんでしょうか。地震直後、学生たちの連絡網は繋がりにくい。電話回線も壊れてしまった。二日たつても、長田と宝塚に住む二人の学生の安否が確認できず、心の底から心配した。金員無事の確認がされた時、被災した仲間の方に少しでもなりたい、そんなボランティア魂に火が着いた。

教員がボランティアとして名乗りを上げた。当日の朝、学生たちは手に手に山のような物資を持って現れた。前日までおにぎりの作り方を知らなかった西宮YMCAを起点に、近隣の方々に必要物資を届けた。避難所の水運びや便所掃除をした者、味噌汁の炊き出しをした者、被災者の荷物運びを手伝った者、それぞれが「私にできること」をおこなった。これからのことを考え、実行していこうとしている。

この他にも、一月二十二日、二十四日の三日間、国際専門学校高等課程の教職員、学生合わせてのべ約七十名が、また、一月二十九日には社会体育専門学校の教職員、学生三十四名とその他の日にも数名がボランティア活動に参加した。

### ワイズメンズクラブの動き

今回の震災により、我々ワイズメンも大なり小なり被災し、後始末に終わられた。しかし、その立ち直りは早く、十九日にはワイズメンズクラブとYMCAの協力体制を確立。二十日夜には、西ワイズを主体とするワイズとYMCA関係の救済車第一便が、本や緊急に集められた援助物資を満載して神戸市長田区の西神戸YMCAへ出発した。翌二十一日には、阪神電車「青木」駅まで開通するまで終着駅となった「甲子園」駅近くにあるワイズメンの藤原さんの事務所を借り受け、現地救援場の開設準備を完了。二十二日朝から二十五日までの四日間、お茶、コーヒ、紅茶、お菓子をサービスする休憩所として、また、最終日は被災物資の受け渡し場所として開設した。この間、被災地から駅にたどりついた方々、被災地へ見舞いに行かれる方々約二、〇〇〇名に利用していただいた。数々のエピソードを残し、心の触れ合い、分かち合う喜びまでも感じながら活動することができた。

ワイズメンズクラブ西宮部長 高平雅生

高槻YMCAと堺YMCAでは、広く一般市民の方々に対象に阪神大震災救援の街頭募金をおこなった。高槻YMCAでは一月二十八日(土)と二十九日(日)の二日、JR、阪急高槻市駅周辺六ヶ所、のべ一〇〇名のYMCA関係者が協力して、高槻市民に募金を呼びかけた。その結果、合計二、二二四、五二九円の募金協力を得ることができた。

また、堺YMCAでも一月二十二日、二月二日、四日に南海堺東駅をはじめとする近辺の各駅前街頭募金をおこない、のべ八十二名が参加し、これまでに三、四八、五二一円の協力を得ている。これらの街頭募金は、これから随時おこなっていく予定である。



### 米国のJCCCNから支援

この度の震災の被災者に対し、米国の非営利団体であるJCCCN(北カリフォルニア、ゼンパニーズ、カルチャー、アンド、コミュニティセンター)より、大阪YMCAが現地で積極的に進めている緊急支援および復興事業に対して五〇、〇〇〇USドルの寄付があった。また、その他に子どもたちのための文具、縫いぐるみ等の物資をお送りいただくことになった。このJCCCNは、会員、参加者六、〇〇〇名を有する北カリフォルニアにおいて最大の日系米国人文化、コミュニティセンターである。その活動は、日米間のさまざまな課題に関する普及活動やさまざまな社会奉仕活動などである。

YCCCN代表 貝谷信雄、渡辺良樹

### 被災地の人々を

## 「被災地を支援する市民の会」発足!

阪神大震災によってもたらされた緊急の事態に、近隣市民として何が出来るだろうか。同行政に任せずにはなく、日頃市民活動をおこなっている個人や団体がつどい、現地の諸団体と連携をとりながら、被災地での応援活動を展開しようとする大阪YMCA、大阪ボランティア協会、地域調査計画研究所、大阪府社会福祉協議会、関西NGO協議会、経団連、ウチクラブ、たんばほの家、奈良まちづくりセンター、日本青年会議所、日本青年奉仕協会などを呼びかけ団体として、応援する市民の会が、国際・社会奉仕センター内に誕生しました。

個人の自由意思で被災地の人々に対して何かしたいという願いを結ぶネットワーク作りを、呼びかけに一月二十三日現在六二五名のボランティア登録、二二二件のホストファミリー登録を受け付け、その他に三〇〇件を上回るボランティアについての問い合わせも多くの個人や企業から一三〇件を超える提供があった。現在のこの会の主な活動は、現地で活躍するボランティアの派遣とホームステイやボランティアの受付、マスコミや他団体への対応、またその事務局での電話対応やボランティア人などである。また、東灘区の甲南教会を拠点に被災者との関わり、ホームステイの受け入れを中心とした活動もおこなっている。



YCCCN代表 貝谷信雄、渡辺良樹

### 阪神地区在住協力会員の被災状況

地区	被災者数
神戸市	9
芦屋市	3
尼崎市	5
西宮市	22
伊丹市	2
宝塚市	7
豊中市	2
明石市	1
計	51

一九九五年二月十日までに判明した大阪YMCAの協力会員の被災者数の報告をいたします。

阪神大震災義援金のお礼とお願い

この度、大阪YMCAでは、長期化するごことが予想される阪神大震災の救援、復興のための資金としての義援金の協力をお願いをしています。すでに協力いただいた皆様には感謝するとともに、引き続き、義援金募金をいたします。趣旨、ご理解の上、ご協力の程よろしくお願いいたします。

立現金の場合は、直接各YMCAの窓口にお持ち下さい。

※お振込みの場合は、下記の口座へお振り込み下さい。

住友銀行 中之島支店  
 (振) 1350012 Y.M.C.A 義援金  
 三和銀行 中之島支店  
 (振) 3813108 Y.M.C.A 義援金

\*住友銀行各支店より住友銀行口座へ、三和銀行各支店より三和銀行への振込料は無料です。

なお、大阪YMCA関係義援金は二月十日現在、一八、一九五、六二四となり、ご協力に感謝いたします。

### 救援ボランティア募集!

西宮YMCAを拠点に展開している救援活動のボランティアを下記の要領で募集しています。

場 所：西宮YMCA

日 程：(阪神西園駅より徒歩五分) 二月二十八日までの毎日参加できる日

時 間：午前十時現地集合  
午後五時現地解散

活動内容：救援物資の整理・配布・配達  
地域住民の希望聞き取り  
炊き出し など

注意事項：食事、飲料は各自持参  
ゴミの持ち帰り

簡水の協力

問合せ：申込み、救援対策本部  
 Y.M.C.A 国際社会奉仕センター  
 担当：藪田、戸田、奥田  
 電話：〇六四四一五五九八

# 神戸学生・青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.27

No.27

発行所 (財)神戸学生・青年センター

理事長 河上民雄

館長 飛田雄一

〒657 神戸市灘区山田町3丁目1-1

TEL (078) 851-2760

FAX (078) 821-5878

郵便振替 01160-6-1083

Yamada-cho 3-1-1, Nada-ku  
Kobe, 657 Japan



▲くつろぐ留学生たち

## この世の中、捨てたもんじやない

阪神大震災で被災した留学生・就学生の支援活動

神戸学生青年センター館長 飛田 雄一

1月17日、あめ地震

朝5時46分、ものすごい揺れで目を覚ました。以前、テレビで見た地中の怪物が私の下半身を地中に引き摺りこむ、そんな夢を見ていたようだった。

センターと私の住む鶴甲団地は車で10分ほど。宿泊客が心配になりすぐにセンターにかけつけたが、幸い宿泊客はなくひと安心。管理人の中国人留学生家族4人が部屋にいないので大声で探していると、寝間着姿で外に避難していた。

事務室、主事室は足の踏み場もないほど書類が散らばっていた。でも幸いキヤスターの上ののっていたコンピュータ、テレビなどは無事だった。求める会等の共同事務所は、中でロッカーなどが倒れてドアが開かない。トイレ、ホール、ロビー等の壁に亀裂が入っているが、柱には傷はない。建物

自体は大丈夫のようだ。

留学生・就学生の支援

センターでは、地震発生以後、1週間目くらいから留学生支援の活動を始めた。そのきっかけとなったのは、韓国からの一本の国際電話だ。私の直接知らない関西学院の留学生が、下宿が全壊して今韓国に帰っている、大学院の手続のためどうしても近いうちに日本に行かなければならないが、住むところがないというのである。私はとちとちあえず学生センターに來ればなんとかなると答えた。

地震の起こった時期は留学生にとって大切な時期で、論文の提出、大学院の手続、入学試験などのため、特に大学の近くにいる必要があったのである。

幸い学生センターのあたりは激震地の灘区にあっては被害が比較的少ない方で、付近の家が全壊とならなかった。そのため地域住民のための避難所にはなっていないので、特に留学生のためだけの宿舎として提供することが可能だったのである。

ホームステイをよろしく!

そこでセンターでは、被災した留学生にホームステイ先を紹介す

ることとし、新聞社にその募集と留学生には対応することを連絡した。新聞にそのことが掲載されると多くのホームステイ受け入れ希望の電話がかかってきた。中には、欧米志向でアジアの留学生に拒否

反応を示すような家庭もあったが、日本人のボランティア精神はすばらしいものだった。今回の地震では神戸市内全体で被害がひどく、ホームステイ先も遠隔地が多かったこと、交通が遮断されており普通なら通える距離でもそれが非常に困難であったことなどから、ホームステイ先は容易には決まらなかった。138件の申し出があったが、実際にホームステイさせていただくことになったのは、そのうち15件程度であった。

水がでる、ガスがでる

新聞にホームステイ先斡旋のことがあると、意外なことに避難所生活をしている留学生から電話が多くあった。帰国した留学生が多くて避難所で暮らしている留学生は少ないと思っていたが、そうではないようだった。彼、彼女らのうちの何名かは、センターに來るようになり、多いときは20名ぐらいの留学生・就学生が滞在することになった。

2月4日には水が出るようになり、ガスはまだだったが一般家庭と違って重油で風呂を沸していたので風呂にも入れるようになった。1月26日からはKIDの好意で国

際電話が無料でかけられるようになったのも留学生にとっては魅力であったと思う。

生活一時金支給の決断

またセンターに出入りしている留学生と話をしていると、地震後の留学生にお金の問題が切実だという。一般の日本人学生が10万円位の貯金を持ちながら暮らしているとすれば、留学生はそんな余裕はなくアルバイトをしながらなんとか暮らしている人も多いという。文部省から見舞金10万円が出るという情報もあったが、結論的に後々の10万円より当面の3万円ということになった。募金活動も開始し、2月1日から住居が全壊・半壊した留学生に3万円ずつ支給することにした。特に根拠はなかったが500万円を目標に募金を集め、150名ほどに支給すればいいのではないかと考えたのである。

義援金続々に勇気一〇〇倍

最初は、入金より出金の方が多くセンターが立て替えるという状況が続いた。しかし日本社会は捨てたものではなく、募金が多く集まり始めた。そして2月14日から支給の範囲を就学生に拡大することにしたのである。実に計763名の留学生・就学生に生活一時金の支給ができた。支援してくださった全国の皆さまに感謝感謝です。ありがとうございました。

(8頁に関連記事があります)



# 大震災と環境問題

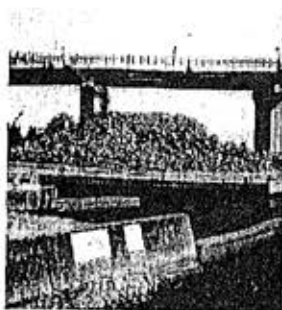
### 大震災に見舞われる

1月17日、まさか大地震が起るとは、ほとんどの人が考えていなかった神戸が、直下型の大地震に見舞われました。死者は五五〇〇人を越え、倒壊家屋は約一七万棟という大きな被害を受けました。

当初、行政による危機管理が問題にされましたが、このような大災害に対し、行政による一方的なサービスを期待することには、限度があると感じました。

初期の人命救助と消火活動においては、それぞれのまちの性格によって大きな違いが見られたと思います。どこに誰が住んでいるのか不明確な都会に対し、地域住民の交流の活発な下町や淡路の一宮などの地域では、どこに誰がいるか、さらにどの辺りに復しているかという情報まで得られ、救出活動の推進に大きな差ができました。また、都会で最も敬遠される自衛消防団の存在の差も大きかったと思えます。

日頃から自分たちの生活している地域をどのようにして、より住



▲木腐材の山

みやすいまちにつくっていくが、また住民一人ひとりがそういう意識を持っていることが重要だと考えさせられました。

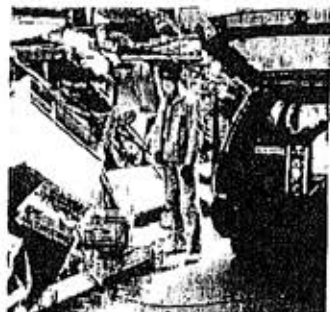
### フロンガス回収

神戸学生青年センターでは、3月3日から、兵庫県フロン回収・処理推進協議会のボランティアとして、廃棄冷蔵庫からのフロンガス回収を行っています。4月14日までに38人のボランティアが延べ78人で24日間行い、二三百台の冷蔵庫からフロンガスを回収しました。

兵庫県下では、約10万台の冷蔵庫が被災したと考えられています。そのうち回収されたのは、4%に満たない約三三〇〇台です。この低い回収率は、もともと被害の大きかった神戸市が、フロンガスの回収はおろか、ゴミの分別収集すら徹底されていなかったことが大きな原因と考えられます。

他の被災自治体では、連絡を受けて冷蔵庫を収集し、フロンガスを回収しているのに対し、神戸市では現在もフロンガス未回収のままパッカー車で冷蔵庫を破壊し、分別収集が徹底されていなかった。冷蔵庫は他の荒ゴミと一緒に処分されてしまっています。

冷蔵庫の冷媒フロンの回収は、紫外線を防ぐオゾン層を守るため



▲フロン回収作業

のフロン対策の極一部でしかありませんが、日頃からできることはやっておかないと、災害時においては環境に対して大きな悪影響を及ぼしてしまうことを思い知らされました。

### 「復興」を大義に違法「野焼き」

震災後、特に被害の大きかった自治体で、廃棄物処理法に違反する「野焼き」が始められました。研究グループや環境庁が調査したところ、ダイオキシンなどの猛毒性の有害物質や酸性雨の原因となる物質が検出されました。

宝塚市では、近隣自治体の協力を得、また神戸市では仮設焼却炉を増設して「野焼き」を中止しました。残る自治体でも、「復興」を大義名分とした違法行為の「野焼き」を市民生活の安全、健康を重視し、早急に中止されることを望まれています。

### 早急にアスベスト対策を

「復興」の為の違法行為に、アスベスト対策が最も深刻な問題として挙げられます。アスベストに

ついては、発癌性が強く、飛散防止策から作業員の健康管理まで、労働安全衛生法など様々な規制が設けられています。

しかし震災後3ヵ月間、野放し状態で解体作業が行われ、吹き付けアスベストのかたまりが、解体現場横の側溝に落ちていたのが目撃されるなど、通常では考えられない危険な状況が起っています。

後々に、今回の震災復興による健康障害が起ころうとしても、救済策がとられるのは困難であり、何よりもそのような危険性を含んでいる「復興」の意味がありません。

市民の健康や生命を重視した復興政策が早急に求められています。

(山本)

詳しくは、食糧環境セミナーにご参加ください。

### 「大震災と生活環境」

第1回 4月21日(金)

「食」 保田 茂 氏

第2回 4月28日(金)

「水」 巖谷田 訓 氏

第3回 5月12日(金)

「大気」 中地 重晴 氏

第4回 5月18日(木)

「廃棄物」 植村 振作 氏

いずれも午後6時30分から

参加費 各五〇〇円

※食品公害セミナーは、95年度より「食糧環境セミナー」と名称を変更いたしました。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

### ■宿泊料 (定員46人)

室数	定員	チェックイン			
		5-7人	8-10人	11-13人	14-16人
会議室 C	16	5-7人 2,400	8-10人 2,200	11-13人 2,100	14-16人 2,000
ベッドルーム (8室)	2	1人 3,000	2人 2,500		
和室 A	8	2人 3,800	3-4人 3,200	5-6人 2,600	7-8人 2,500
和室 B	3	1人 3,800	2人 3,200	3人 2,600	

(例、一人につき)

●シーツとよくからカバーをお貸しします。和室にはゆかたを準備しています。その他の部屋でゆかたの必要な方はお申し出下さい(貸費200円)。ベッドメイキングは、セルフサービスでお願いします。

### ■会場使用料

	学生料金 (一般料金)		
	A.M.9-12	P.M.1-5	P.M.6-10
ホール	4,000 (6,000)	5,000 (7,000)	6,000 (8,000)
スタジオ 会議室A 会議室D	2,500 (3,000)	3,000 (3,500)	3,500 (4,000)
会議室E	2,000 (2,500)	2,500 (3,000)	3,000 (3,500)

- ホール使用に限り1曜日・1部屋・5日は各2,000円増
- 営業目的の会場使用は、5割増となります。
- ピアノ使用(1日、04時(スタジオ)、2,000(ホール)) 併し、ピアノ発表会の場合は115,000円



- 阪急六甲より徒歩2分
- JR六甲線より徒歩10分
- 新幹線新神戸よりタクシー15分

神戸学生・青年センターが被災者支援の会を主催

被災「障害」児・者支援の会

今回の大震災直後、ありとあらゆる情報媒体から多くの情報が飛び交いました。しかし、その中であってなお現地で生活しているはずの「障害者」の状況は伝わってきませんでした。一体、彼らは何処にいつてしまったのか。私たちに何が出来るのか。何が必要なのか。そんな思いの中で、「被災「障害」児・者支援の会」の第1回事務局会議が1月20日、京都において開かれました。(今現在、



▲入浴送迎サービス

京都府下の18の賛同団体によって形成されています。その後わたし達は、神戸学生青年センターの一室を現地事務所としてお借りして、現地に直接入って活動してきました。それによって灘・東灘区を中心とした各避難所をまわることが出来、そこで避難生活を余儀なくされている「障害」をもった方々と関係をつくっていきながら、要望に出来る限り応えていけるようになりました。私たちが関わった方々の要望はまさに多岐に渡っていました。入浴物資支援をはじめ、京都への一時避難、通所施設への送迎等。そこで私たちがぶつかったものは、「障害者」にとって本当に深刻な状況は震災の後も前も何らかわらないという現実でした。行政の網の目

から抜け落ちていった地域で生きる「障害者」。こういったケースを地域の人たちとともに考えながら、息の長い支援活動をしていきたいと考えています。(福上友子) ※1月以降は、雲内教会(阪急六甲駅南東)を拠点に活動されます。電話〇七八八五六一〇七〇〇

これらは、北海道や九州を始め全国から集まったアマチュア無線を進めました。二月中は食料を始め、ものが欲しいとか水を汲んだりシートを張る手伝いが必要、などの声が多く、その都度手を尽くしていろいろ調べ探して答えを出すようにし、まづ無理と諦めていたチェンソーも林業団体の厚意で翌日の朝には作業者つきで派遣できて大変喜ばれたこともありました。三月に入ると水道が出たりガスが復旧し、また、店も開いて周りの環境も落ち着いてきたこともあり、融資や税金、仮設住宅の申し込み、引っ越しの手伝い、楽しいイベントをしてくれる所はないかなど、社会復帰や心のゆとりを求める声が多くなってきました。

協力を、感謝します。(鈴木福和)

「チェンソーが欲しい、瓦礫を片付けたいんや」、「炊出しで使う使い捨ての丼、15000個ないか」、「私達が活動を始めてしばらくたった二月中ごろ、避難所からこんな要望が相次いだ。灘区アマチュア無線ボランティアは、避難所やボランティアの情報交換を無線を使ってサポートする、避難者へ必要な情報を無線を使い早く正確に伝えるなどを目的として活動

は作業者つきで派遣できて大変喜ばれたこともありました。三月に入ると水道が出たりガスが復旧し、また、店も開いて周りの環境も落ち着いてきたこともあり、融資や税金、仮設住宅の申し込み、引っ越しの手伝い、楽しいイベントをしてくれる所はないかなど、社会復帰や心のゆとりを求める声が多くなってきました。

最初地元の数人で始めたこの活動を手伝った無線家は、最終的に百四十名ほどに膨らみ、その一人一人が何十人の被災した人々と知り合い、二か月ほどの間に何百人何千人の人の輪になりました。この活動の一番の成果はこの人の輪だと思えます。これを大事にして行けば、また何が有っても乗り越えて行けると思えます。皆さんの協力、感謝します。(鈴木福和)



▲BJ3AMJ無線局

神戸学生・青年センター 各種教室案内

- ◆灘英語セミナー ..... 木・日曜日・後5~9:00 木村先生 078-841-5320
- ◆六甲トレーニングサロン ..... 月曜日・前9~12:00 前田先生 0797-31-7112
- ◆健康体操 ..... 木曜日・前10~12:00 古田先生 078-781-2389
- ◆稲美会(絵更紗) ..... 第1・3日曜日・後1~5:00 藤川先生 078-821-6135
- ◆サチバッチワークキルト ..... 第2・4火曜日・前9~5:00 第3金曜日・前9~12:00 荒金先生 078-842-0253
- ◆あみものさろんくぼた ..... 第2・3・4水曜日 後1~5:00 窪田先生 078-994-9034
- ◆神戸グレースチャペル(日曜礼拝) ..... 日曜日・前9~12時 連絡先・奈良原 0798-52-0058
- ◆からむい会(絵更紗) ..... 第2・4木曜日・後0~4:00 成村先生 0797-31-1798
- ◆フォークダンスの会 ..... 火・木・土曜日・前10~12:00 連絡先・白川秀子 078-861-2652
- ◆すぎなコーラス ..... 日曜日・前10~12:00 連絡先・阿部雅子 078-811-6855
- ◆神戸女声合唱団 ..... 金曜日・前10~12:00 連絡先・岡 邦子 078-291-0855
- ◆神戸東女声合唱団 ..... 金曜日・後2~4:00 連絡先・野口綾子 0727-77-2080
- ◆児童英語(MOMO) ..... 月・水・木・金・土曜日 寺地先生 078-882-1191
- ◆WEC(英会話) ..... 日曜日・前9~12時 石原先生 078-581-2238
- ◆創作アップリケ ..... 第2・4月・金曜日・第1・3火曜日 前10~12:00 柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマールコール(混声コーラス) ... 日曜日・後6~9:00 連絡先・広瀬 0798-40-4170
- ◆煎茶教室 ..... 月3回・木曜日・前9~12:00 長谷川先生 078-841-0915
- ◆ヨカ体操 ..... 火曜日・前9:30~12:00 河先生 078-841-0356
- ◆アトリエ U3 (フラワーアレンジメント) ..... 第2・4水曜日・後1~5:00 大道先生 078-821-9038
- ◆アトリエ太陽の子(児童絵画) ..... 木曜日・後1~5時 中嶋先生 078-841-8421

※申込は直接教室に参加していただくか電話にてご連絡先をお願いします。

### 留学生・就学生支援活動の記録

①生活一時金(3万円)の支給  
(2/1~3/31)

大学・大学院・短大	379
日本語学校その他	384
計	763
中国人	626
韓国人	63
その他	74
計	763

※ その他の国は、台湾(26)、バン  
グアラシュ(13)、インドネシア(5)、  
以下3人が、オーストラリア、ベト  
ナム、香港、ミャンマー、2人がマ  
レーシア、ブラジル、フィリピン、  
ニュージーランド、1人がポルトガ  
ル、ザンビア、エジプト、アメリカ、  
トルコ、イギリス、メキシコ、スイ  
ス、スリランカ、ネパール。

②ホームステイの紹介  
受け入れ希望 138件  
実際の受け入れ 15件

③センターでの宿泊  
1/25~4/11 平均 約15名  
延べ 1120名

④物資の供給  
自転車 48台  
オートバイ 20台  
冷蔵庫 3台  
洗濯機 8台  
カラーテレビ 9台

### 震災中の留学生と学生センター

#### 神戸大学大学院経済学研究科 (中国人留学生) 金哲松



阪神大地震か  
らまもなく三カ  
月になるところ  
であるが、神戸  
は桜満開の季節  
に入った。復旧になんとか目途  
がついたのは、まあ結構なこと  
であるが、それよりもっと喜ぶ  
べきことは新しい神戸文化とも  
言えるような人間本来の良性の  
復活と展開ではないかと思う。  
まるで、「そしてひとつが終わり、  
そしてひとつが生まれ」の感じ  
である。

神戸に来て二年目になるとこ  
ろで、人管からの家族滞在許可  
がやっとで、昨年12月13日に

家族を呼んできた。家族が来日し  
て一か月ちよつとでなんと大地震  
に……。幸い家族全員は無事であ  
ったが、これからの留学生生活に対  
しては絶望的であつて留学を放棄  
しようとも思つていた。それは家  
が全壊であつて住居解決に目途が  
つかなくあつただけではなく、これ  
からの長期にわたる避難生活で日  
本人に嫌われるのではないかと思  
つたからであつた。が、どこへい  
つてもお互いに助け合い支え合う  
感動的な場面で、留学生に対して  
も同じ、いや留学生に対してはも  
っともっと援助しようとするのが  
普通であつた。家族を連れて一時  
帰国して一人で戻つてきた私は、  
もとの避難場所には戻れないので  
困つていたが、友人の紹介でやっ  
と新しい避難場所が見つかった。  
僕等にとっては貧乏過ぎるぐらい

の神戸学生青年センターであつた。  
センターでは1月25日頃から  
大規模な留学生支援の活動を始  
めて、被災した留学生に当面の  
宿舍の提供及びホームステイ、  
下宿の紹介、生活一時金3万円  
支給、国際電話の無料サービス  
などの活動を行なつてきた。こ  
れは留学生にとつては「雪中送  
炭」である。館長飛田さんをは  
じめとするセンターの職員皆さ  
んのお陰で、私は学年レポート  
を全部書き終わり、また新しい  
住居も見つかった。

地震は人々に大きすぎる不幸  
と被害をもたらした。でも神戸  
の人々は被災に負けず頑張つて  
いる。神戸の街の至る所まで人  
情に溢れている。私も当面の困  
難を乗り越えて頑張りたいと思ふ。

I  
LOVE  
KOBÉ

### 震災日誌 ／ 救援関係

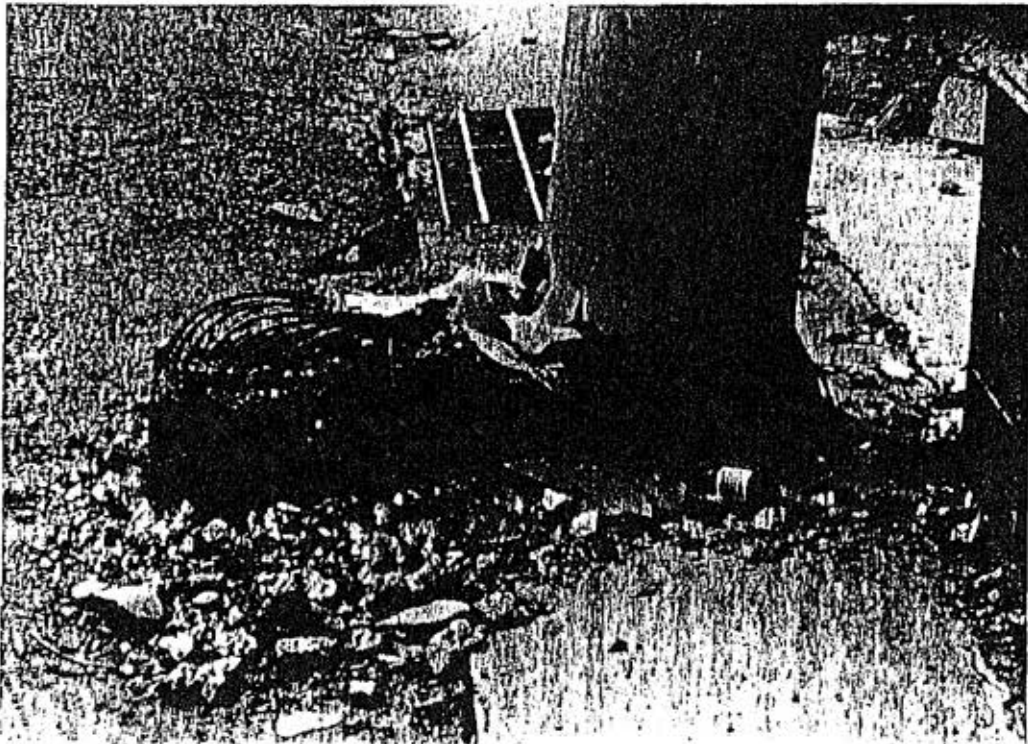
- 17 大地震
- 18 市島町有機農業研究会よ  
り救援物資第1便届く、  
その後も続々
- 22 大阪の水野G、除染珍G、  
京都厚地氏、物資持参  
ワーキングたんばよりバ  
ン、大阪の薬野、典光現  
氏ら来訪
- 23 聖公会大阪より自転車  
留学生支援活動開始
- 24 ボランティア宿泊開始  
KDD無料電話設置
- 25 宮内、全富子氏ボランテ  
ィア(1・2・20)
- 26 留学生に3万円支給開始  
東京・韓国食品(関氏)よ  
り物資
- 28 大聴議員ら来訪
- 29 水道復旧
- 30 アマチュア無線の局設置  
赤ちゃん等入浴サービス  
開始、サラワクキャンベ  
ーンよりTシャツ
- 31 被災「障害」見・者支援の  
会がセンター内に拠点  
愛知県の日進等子育て支  
援ネットよりバイク等、  
徐根植氏ホルモン鍋提供  
東九条マダンG来訪
- 32 就学生に3万円支給開始  
百姓いっきより物資、瀬  
教会留学生にうどんの会
- 33 ナナカハ労働センター  
(築徳龍氏)より自転車  
7台
- 34 早稲田奉仕団、韓国裡里  
第一教会代表来訪
- 35 ACISA、鎌ヶ谷国  
際交流協会より来客  
横浜・今井久美雄医師に  
よる韓国語による医療サ  
ービス(1・26)
- 36 高槻シヤルマンコーボ棋  
津富田管理組合より自転  
車19台他、韓国より朴才  
一氏ら来訪
- 37 小池百合子氏IBPの義  
援会を持参来訪
- 38 ガス復旧
- 39 ボランティアアイ、宝塚  
の茶房「博」がコーヒー  
サービス
- 40 豊田市国際交流協会より  
バイク18台、自転車22台  
ノイエカンマール、  
センターでコンサート
- 41 地元NGO厚生省交渉  
流通科学大学吹奏楽部他  
留学生支援のチャリティ  
コンサート(4・2も)
- 42 徳島市国際交流協会来訪  
河内長野市国際交流協会  
来訪
- 43 生活一時金3万円支給お  
よびボランティア特別制  
引宿泊体制終了
- 44 無縁ボランティア撤収  
市民救援基金・小田実氏  
義援会を持参来訪
- 45 被災「障害」見・者支援の  
会堂内教会へ移動

# みんなで生きる

3

1995

## 特集 阪神大震災・関西NGOネットワーク医療ボランティアの働き



無残にも折れた電信柱

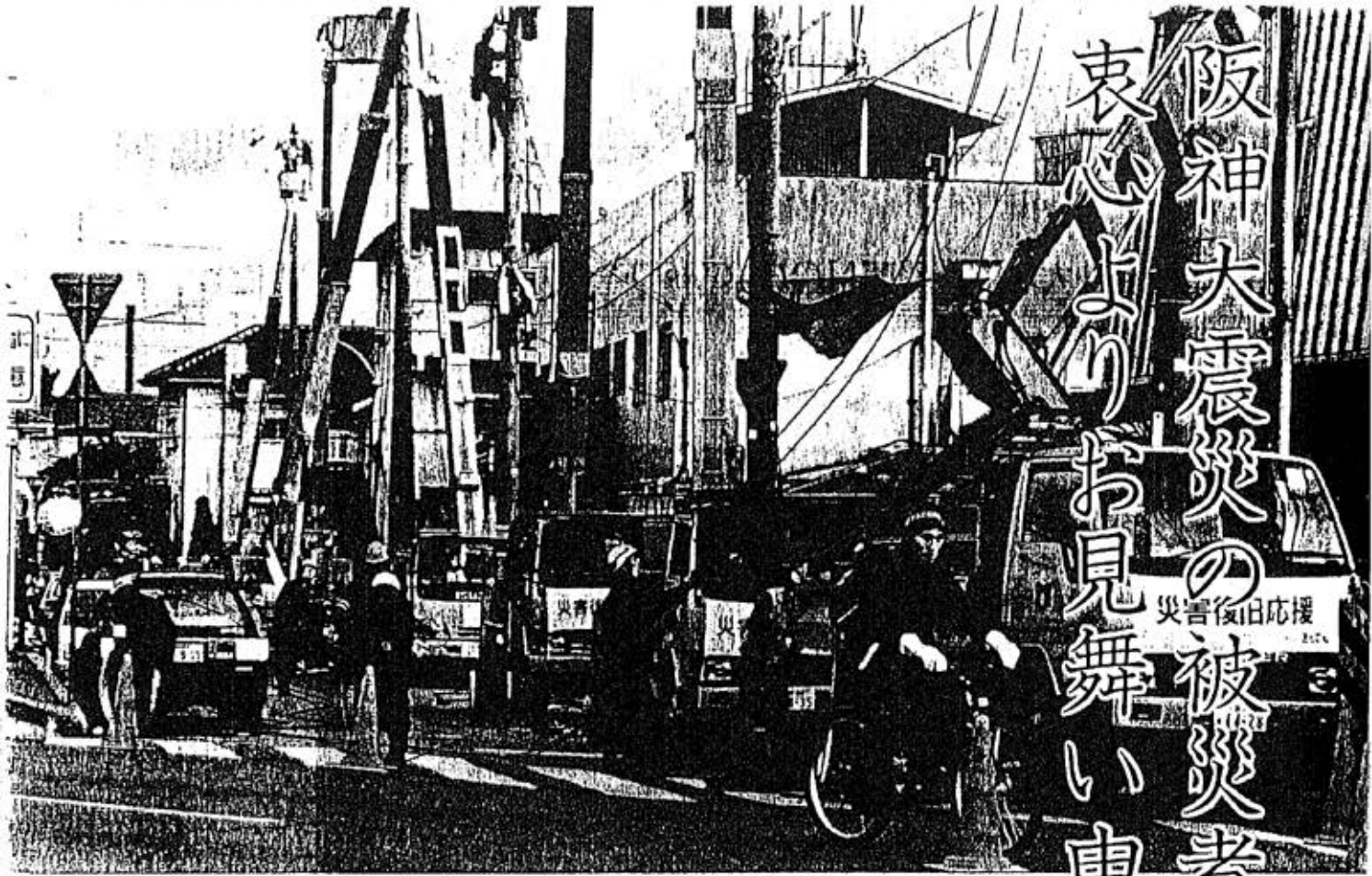
### 思想の液状化

隅谷 三喜男

一月十七日、阪神一帯は私たちの経験するところでは、未曾有の烈震に見舞われ、五千人を超す死者を出すことになってしまいました。私は関東大震災で家が崩壊し、焼き出される経験をしました。今回は早朝であったため、神戸市長田区などを除くと火災の被害は、関東大震災ほどでなかったのは、せめてもの幸であった、といえましようか。

ところで、阪神大地震は直下型であったことから、地下地震の液状化現象が見られたと、新聞やTVは伝えております。このニュースを目にしたが、私は世界の、そして日本の政治、社会、更には思想の混乱状態を思い起こしました。世界はこの七、八年大激震に見舞われています。この激震で、戦後四十年世界を二分してきた東西の対立は、ソ連共産主義体制の崩壊ということで、崩れ落ちました。しかし、その後も余震が続いて、世界の状況は安定しません。

その大きな余震の一つは日本の政治状況と云ってもよいでしょう。五十五年体制と云われた保守・革新の体制が崩れ、正に液状化の状況です。液状化は政治の世界だけではありません。思想の世界も液状化現象の中にあると云ってよいでしょう。今まで漠然とではあれ、考えていた人生の生き方、社会の見方などが、根底から揺さぶられて、方向を見失っていると言わねばならないようです。私たちはここで改めて自己を見つめ、隣人を見つめて、歩みを誤らないように。



阪神大震災の被災者の方々に  
衷心よりお見舞い申し上げます。

地震発生後、三週間が経過いたしました。

驚愕と恐怖の思いが少しずつ遠のき、明日への復興に向け、力強く生きる生への意欲を回復されつつあることと推察いたします。

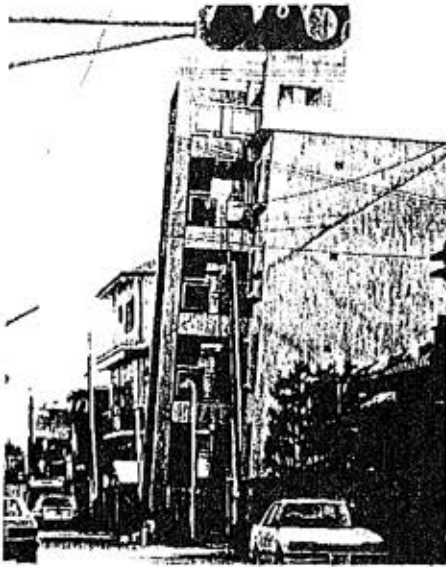
何よりも先ず、この度の大地震により、五千余名の生命が失われる中、家屋が崩壊、職業、生活圏が破壊されてしまった多くのJOC S関係者の皆様に、神の深い恵め、人智を超えた平安が豊かに与えられますよう心からお祈りいたします。一日も早く、震災前の健康な市民生活へと回復されますように、切に願っております。

平素、皆様の物心両面にわたるお支えをいただいているJOC Sは、十七日未明の大地震発生後、日本キリスト者医科連盟(JCMA)と連絡を取り、翌日には緊急医療活動のため、医師や看護婦を派遣、皆様への支援を始めさせていただきました。現在も、関西NGOネットワークの中の「医療班」として、JOC S事務局スタッフをも動員しながら、被災地での医療活動に全力をあげております。

どうぞ皆様、上なる方を仰ぎつつ、気を確かに持ち、再起に向け、歩み出してください。わたしたちも、物心両面におき、能うる限りの協力と支援をさせていただきたく存じます。神の平安が皆様と共にありますように

一九九五年二月七日

総主事 小杉 勉次



阪急西宮北口駅

1995・1・17 5:46A.M発生

## 阪神大震災

あの日、今までに感じたことのない大きな揺れに飛び起きた。その揺れを感じたのは大阪で、であったが、まさかあのひと揺れが、五千人以上もの命を奪うものになるうとは、思いもしなかった。

JOC S関西事務局は、大阪市中央区にある。地震発生後、かろうじて動いた京阪電車に乗り、事務局へと向かった。駅から事務局まで七分程の道のり、大きなビルの窓ガラスが割れ、古い家の瓦は無数にも下に落ちて粉々になっていた。近くの鰻の老舗「柴藤」の店の壁のタイルも落ちていた。事務局はどうなっているだろうか。鍵を開ける手が震えた。果たして事務局の中は、思っていたよりも被害は少なかった。それでも、中身がぎゅっちりつまっているロッカーが、五センチ程前にズレていたのを見つけ、背すじが寒くなったのを覚えている。

地震の翌日から、関西事務局はにわかに忙しくなった。医療ボランティアに参加したいという人達からの電話を受ける窓口になったためだ。多くの医療関係者の方々が、少しでも役に立てたらと電話をしてくれた。そういう気持ちにどれだけ私たちが励まされ、また嬉しく思ったことか。

一月二十七日、地震が起きてから十日目。梅田駅から阪急電車に乗り、西宮北口駅へ向かった。車窓から見る風景は、電車が梅田駅を離れるにつれ、まるでコマ送りの映画を見ているように変わっていく。大きなブルーのシートがだんだん多く、視界の中に飛び込んできた。西宮北口駅を降り、すぐに目についたのは、駅前に駐められた自転車の多さと張り紙の多さ。自転車は多くの人たちの大事な足であり、また張り紙は、人と人をつなぐ重要な伝達方法であると容易に判断

### 関西N G O ネットワーク

#### 医療ボランティア活動記録

一月十七日(火)

早朝五時四十六分、兵庫県南部に地震発生。一月十八日(水)

大阪YMCA国際・社会奉仕センター館長の真嶋克成氏より、関西国際協力協議会に対して緊急要請。それに応ずる形で医療面を関係諸団体が協力してネットワークを形成した。

一月十九日(木)

淀川キリスト教病院の医師を中心に活動を開始。連絡センター、医療ボランティア登録場所として、JOC S関西事務局が担当することになり、活動開始。ボランティアチームの最初の活動は検死。現地の活動の拠点を西宮市中央体育館に設置。

一月二十日(金)

西宮中央体育館に診療所と巡回診療の拠点設置。活動開始。

ボランティア医療従事者が全国から医薬品等を持って、次々に到着。

一月二十一日(土)

車で東灘区、芦屋市方面の巡回診療のため出勤。医療ボランティアの問い合わせ、申し込みが相次ぐ。名称を「関西N G O ネットワーク医療ボランティア」とする事を決定。

一月二十二日(日)

昨日に引き続き、医療ボランティアの電話

### 関西 NGO ネットワーク医療ボランティア活動場所 (2月12日現在)



できた。

すでに一月十九日から、多くの医療関係者(主に医師・看護師)の方々が活動を始めている西宮市中央体育館を目指し、歩き出した。歩きながら目に飛び込んでくるその光景は、テレビで見ている以上だった。多くの家が傾き、壁が落ち、見るに忍びない家も多かった。しかし反対に、外から見た限りではたいした被害もない家もあった。その明暗は、はっきりと表れていた。西宮市中央体育館には、多くの人たちが避難していた。広い体育館には、びっしりと布団がひかれている。東京から友人六名と共に医療活動に参加した田村恵子さん(看護師)は、「この状況を見て、何も考えなかったらうそだと思う。いろいろな意味で学んだことが多かった」と感想を語ってくれた。

今回、関西 NGO ネットワーク医療ボランティアの一員として多くの方々が活動して下さり、今もなおその活動は続いている。その中から四名の方々に感想を書いていただいた。それぞれの立場、職業から、今回の事をどう取らえ考えたのか、ぜひ読み取っていただきたい。

(編集部)

多数。灘小学校に診療所開設。続いて六甲小学校にも診療所を開設した。

夜、灘小学校、六甲小学校にかなりの人数の患者さんが来たとの連絡入る。

一月二十三日(月)

朝日新聞等、マスコミ関係に医療ボランティア募集の情報を流したため、西宮市中央体育館の携帯電話が鳴りっぱなしになる。八王子薬剤師会が大量の医薬品を寄付して下さる。

一月二十四日(火)以降

常設の診療所は関西 NGO 医療ボランティア本部のある西宮中央体育館の他、体育館近くの平木小学校、平木中学校、神戸東灘区の住之江公民館、灘区の灘小学校、六甲小学校、摩耶小学校、長田区の西神戸 YMC A (一月三十日で終了) の八カ所となる。

徐々に救急医療から、風邪や慢性疾患の治療、および避難所の人々の栄養改善、高齢者や障害者へのケア、被災者の精神的ケアが主体となる。

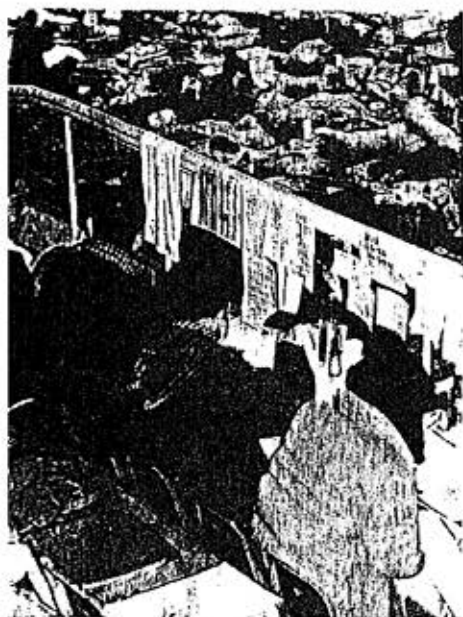
各県、日赤、兵庫医大などからの応援医療チームとの連絡調整会議が西宮市では週一回、神戸市東灘区、灘区では三日に一回もたれる。

二月四日(土)

前、現コーディネーター、スタッフ、その他の関係者十二名で現状分析、問題点の協議、今後の方向について話し合う。

二月十五日(水)

住之江公民館のクリニックを近くの大きなクリニックに引き受けてもらい撤収。



西宮市中央体育館・本部席

## 事務コーディネーターの 視点から

林 かぐみ

前夜までテレビで見ていた西宮市中央体育館に着いたのは、一月二十日夜遅くでした。翌朝さっそく、西宮市の関係者と、同じく市内で医療活動を開始する他組織の人たちとの打ち合わせ。診察室に戻ると、診てもらえると知った患者さんが次々と訪れ始め、週末であることも手伝ってか、一般の医療ボランティアもぞくぞく集まり始め、事務機能は早々に体育館二階の観戦席へと移りました。その日の深夜からは一般ボランティアの間合せと申し込みが殺到。市役所への問合せがこちらに回され、期せずして膨大なボランティアセンター業務が発生したのです。丸二日間電話に貼りつけ状態でしたが、本来の事務コーディネーターの仕事の中心は集まった人たちの滞在回数などの条件と、各々の診療現場でのニーズを照らし合わせて人の配置を

決め、チームをつくることです。事前連絡なく来る方も少なくないため、とにかく決めなくちゃと、はなはだ乱暴なアレンジになってしまいま

した。

あわただしさと面識もない人たちの中でしたが、働きの身近にいることで、様々な方たちと出会うことができました。診察室を出て体育館全体の衛生環境づくりへと働きを広げていったメンバー。換気のために窓を開けること、うがい薬の設置、トイレ等の消毒が実行されていきました。避難所担当のメンバーは、地図と避難所リストで巡回計画を立てます。地元開業医の再開状況などの情報もより確かなもの、使えるものにして、やっと出発準備OKです。そして戻ってきてからは、記録を作り、明日以降へつなげます。普段よりはるかに、白衣に寄せられる期待は大きく、多岐にわたるだろうことは、たやすく想像できます。さまざまな限界の中で、その人にとってよりよい状態へ近づけるための働き人であろうとする人たちの使命感を感じました。

指揮をとられたJ C M A・J O C S関係の方たちの中に、この活動の立つべきところが明確に示されていたことは、たいへん重要なことでした。官民含めて、現地の医療・保健分野の社会資源が回復するまでのピンチヒッター。期限つき補充的であ

りながら、より助けを必要とする人のもとへという在り方。そして、思いを共にする人たちといっしょに働こうという姿勢。二十一日から毎夜持たれたミーティングは、行政担当者を含め、市内で医療活動をする諸団体間の連携を越えて、共に働くための場づくりともなっていたように思います。とりわけ巡回活動のメンバーにとっては、個々の患者さんや各避難所での声に、可能な範囲で応えようとするためには貴重な機会でした。

深夜まで携帯電話が鳴っていたあの晩、「電話の音が助高くて、神経にさわる」と言われたことがありました。忙しさの中にもある種の高揚、ハリを感じていたのは事実です。困難の中にいる人たちと共にあるとする活動が、その目的から離れ、共に願う人たちのことが目にはいらなくなっていたのです。

百名を超える一般医療ボランティアの方々、活動の基軸を担われた方々、回りでバックアップして下さった方々の思いが、新たな課題に向かわれる被災者の皆さまの安らぎにつながりますようにお祈りします。  
(はやしかがみ アジア保健研修所)



# 阪神大震災でのボランティア

榎戸健次郎

今回ほどボランティアのエネルギーとさわやかさを強く感じさせられたことはなかった。

十七日の午前中からパニックのように放映される震災の惨状に国民みんなが何かお手伝いしたいと思われたことであろう。私もその一人であった。事故直後の救命救急には間に合わなくても、避難所で不自由な生活を強いられている人たちの診療などで何かお手伝いしたい。この思いは診療所の職員皆同じで、私が代表として行くことになった。ただ、ボランティアがばらばらに行っては受け手も大変であろう。出来れば組織としてまとまって仕事をしたいと考え、JOC Sに連絡を取った。十八日、小沢常務理事・小杉総主事の判断がおりる。JOC Sは海外医療協力会で国内の緊急医療援助は活動の柱に入っていないが、このような大災害であり、日本キリスト者医科連盟(JCMA)と協力し出来るだけのことをしようということになった。



右端：筆者

十九日仕事をそうそうに終わらせリユックを背負って大阪へ向かう。JOC S関西事務局に立ち寄る。連絡に奮闘されてきた榛木職員から現状を聞き淀川キリスト教病院へ向かう。院長他多くの職員が被災したにも関わらず、辻本副院長を中心に救急患者の受け入れと救援活動に苦闘されていた。夜遅く、その日の救援活動から帰られた医師、看護婦さんを変え状況を分析し、翌日から何をすべきかを検討する。

二十日午前、西宮市中央体育館に関西NGOネットワーク医療ボランティアの第一キャンプを設営し、午後から診療を開始する。本当に困っていたのだろう、この診療所に多い日で三百名近い被災者が受診された。と同時に、このNGOネットワークを通して多くの医療従事者が続々集まってくれた。SHARE(国際保健市民の会)、自治医科大学、兵庫医大、自衛隊、淀川キリスト教病院、愛知国際病院、岡山博愛会病院などなど、政府機関から小さなNGOまで、又こうした組織に属さない全く個人のボランティアからの申し出がひっきり無しに続いたのも驚きであった。「三日間休みを取ってきまして」、「大阪での診療を終えた後、夜九時から深夜一時ぐらいまで働かせていただきたい」。皆食料を背負い寝袋を用意して来て体育館のシャワー室、学校の保健室の一部の床に雑魚寝しての診療活動である。職種も様々、看護婦、保健婦、薬剤師、介

護士、医師、歯科医師、鍼灸師、事務調整役、作業療法士、オートバイ・ボランティアなど。申し出は多い時間で三〇〇人にも達し、私たちがその働き場を用意できたのは毎日百人足らず。その多く善意を感謝しつつお断りせざるをえなかった。皆黙々とこの困難に立ち向かっている人たちに、少しでもお手伝いしたいという気持ちからだろう、夜遅くまで働いた。勿論誰も報酬や交通費、食費を要求したり、指示された仕事を拒否する者はいなかった。

今回の活動を通じて私は、一般の日本人の熱い思い、暖かい心を再認識させられた。私たちのJOC Sもこのボランティアリズムの原点を大事にしていきたい。

(ならとけんじろう JOC S常任理事 北海道美流渡診療所長 医師)

## ワーカーからの手紙①

神戸の大地震のニュースに大変心を痛めております。亡くなられた多くの方々の魂が天国で憩いますよう。肉親、友人を失われた方々の悲しみが早く癒やされますように祈らずにはおられません。

石田 裕



## 移送サービス

『車いすのまま移動！』

リフトカーで送迎いたします。

- ①車いす・電動車いすを利用されている方
- ②寝たきりの方（担架・ストレッチャーでの移動ができます）
- ③公共交通機関を使つての移動が困難な障害（児）者・高齢者の方  
〔費用について〕

運行は無料ですが、有料高速道路・有料駐車場等は、利用者負担です。



詳しくは、下記までお問い合わせください。

兵庫県南部地震

『移送サービス支援ボランティア』対策本部

電話：030-31-84579 4月以降変更

## 「心の相談室」のご案内

阪神大震災の被災者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。  
私どもは「心の相談室」を下記のとおり開設しておりますので、  
お気軽にご相談ください。

### 記

#### 1 設置場所等

労働福祉事業団

大阪産業保健推進センター

〒541 大阪市中央区本町2-1-6 堺筋本町センタービル9F

(フリーダイヤル)

**0 1 2 0 - 8 9 9 - 9 0 1**

**0 1 2 0 - 8 9 9 - 8 0 2**

#### 2 受付日時

平成7年2月1日から当分の間 午前9時～午後5時

ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。

#### 3 相談への対応者

専門の医師 及び カウンセラー

#### 4 「心の相談室」の設置者

- ・(社)大阪府医師会
- ・労働福祉事業団 大阪産業保健推進センター

巾着の伊波隆幸さん(心)は「一生懸命聞いてくださった。驚か、同じ時間や感動を共有できた喜びがあります。」

4日午前中は御影北小学校在約1時間、クラシック

## 温かい心 募っています

朝日新聞大阪厚生文化事業団は、阪神大震災救済金を受け付けています。直接、朝日ビル3階の事業団(午前10時～午後6時、土、日曜、祝日は休み)に持参していただくか、「阪神大震災救済金」と明記して、現金書留、郵便振替のいずれかで、〒530-11 大阪府北区中之島3の2の4朝日新聞大阪厚生文化事業団(郵便振替・〇〇九一〇九一四九九〇)へ。寄附者名は各地方版に掲載しています。匿名希望の方はその旨を明記して下さい。

朝日新聞大阪厚生文化事業団



からデイスニー、ピートルスの曲などを演奏。家が全壊し、この避難所に身を寄せ、中年の女性は演奏終了後、「本当に今日はうれしかった」と涙を浮かべていた。

〇子らへの地盤用マニュアルでできる。三年前に米国フロリダ州を襲ったハリケーン「アンドリュー」で被災した子らの現状や教師の対応をまとめた冊子の翻訳作業が、多くのボランティアの協力で「災害に遭った子どもたちへ、小学校教師のためのマニュアル」と題して刷り上がった。

ハリケーン被災の子どもたち(約三分の一が、一年後も心のケアを必要とする) P.T.S.D.(心的外傷後ストレス障害)の症状を示した。

マイアミ大学のラ・グレカ教授は、P.T.S.D.症状の子どもたちに対し、小学校の教師やカウンセラーがどう対処してあげればよいかをまとめた。被災に遭った日本の子どものために役に立てばと、冊子を各地に送ってきたのがきっかけ。

被災地の高校の英語教師たちが翻訳し、編集やデザインなどはすべてボランティアが仕上げた。内容は、子どもたちが被災後、災害にどう反応するかなど、心の様子や簡単な診断テスト、教室などで行う具体的なプログラムなど。ハリケーン用のマニュアルを地盤用として使えるように加筆・工夫された。

精神科医・小西理子さんから専門家監修。B5判、八十二ページ、一万部発行する。被災地の小学校に無料で配布するほか、希望者は振替四百円と送料(三百四十円を郵便振替(振替番号〇〇九一〇九一四九九〇)、朝日新聞大阪厚生文化事業団)で、マニュアル希望と必ず書いて送る。

【問い合わせ、連絡は、朝日新聞大阪厚生文化事業団救済事業係、電話06-201-9678へ】午前10時から午後6時まで、日曜と祝日は休み

## 崔

### 大震災による死者・不明者

	合計	兵庫	大阪	京都
死者(人)	5501	5479	21	1
不明(人)	2	2	0	0

10時45分現在、近畿管区警察局調べ



### 道路

【規制中】阪神北神戸線東行き(6時～18時)、湾岸線中島～深江浜(6～21時)、神戸線西行き尼崎東～武庫川と同東行き武庫川～姫島(同)▽第二神明東行き明石西～須磨(6～18時)▽新神戸トンネル南行き(同)▽中国道吹田～西宮北は上下各2車線▽国道2号尼崎市西大島交差点～神戸市灘区岩屋交差点(6～21時)▽国道43号尼崎市武庫川2丁目～神戸市灘区岩屋交差点(同)【不通】名神高速西宮～尼崎▽阪神高速湾岸線の深江浜以西、神戸線武庫川以西▽第二神明～須磨インター～月見山(月見山ランプ閉鎖中のため)

市西区学園西町2丁目の日産コミュニケーションプラザで、都市生活協が組合員から集めた食料品、衣料品、台所用品などを販売する。売上げは同生協の被災地での救済活動の費用にあてる。問い合わせは同生協名古屋センター(078-794-1313)へ。

◆お花見とスポーツ大会 8日午前11時から大阪府吹田市千里万博公園の万博記念公園で、桜の下で長なわとびやドッジボールなどをして遊ぶ。小、中学生が対象で、定員は30人。申し込みは7日午後7時まで主催の大塚YWCA千里センター青年部(06-872-0505)へ。集合場所は次のとおり。

JR三ノ宮駅 午前10時  
▽阪急三軒家 午前10時  
▽阪急三軒家 午前10時  
JR大阪駅 午前10時半  
◆ASHIYAからFESTIVAL 8、9日午前11時午後8時、芦屋市の具川公園。芦屋経済人会が主催。吹奏楽やハワイアンのコンサート、食べ歩き

### 支援

◆助産婦による妊婦・育児相談 日本助産婦会近畿地区勤務部会が、妊娠や育児、母乳のことなどについて次の日程で無料相談に応じて。希望者は乳房マッサージもする。いずれも午後1～3時半、神戸市灘区山田町3丁目の神戸学生青年センターで。8、15、22日▽5月6、13、20、27日▽6月3、10、17日。また、相談に協力してく

### 子ども

◆わくわく一日子ども村 8日午前10～午後2時、芦屋市浜藪屋町の若屋公園で。ボランティア団体「こころのライトアップ隊」主催で、綿菓子、ヨーヨーつり、輪投げなどを無料で楽しめる。雨天中止。

れる助産婦を募っている。一日だけでも可。問い合わせは福本さん(07998-43-0226)へ。



TTTが設置した臨時電話で家族や知人に連絡をとる  
災害たち=1月18日、神戸市の長田区総合庁舎前で

# 災害「電話が通じない」…

## 安否連絡、目ぐるの備え

阪神大震災では、数日間電話がとてまかりにくく、なりました。大災害が起きた時、素早い救助、救援活動をするのに、通信手段の確保はとて大事です。NTTは大震災の反省から通信網のあり方を見直しているところですが、ひとりひとりが日ごろから緊急連絡手段をどうするか考えておくことも大切です。

(編集委員・原 淳一郎)

### まず線をつないでみる

震災で家が倒れたら電話は使えない、と思っるのは早すぎます。屋内の電話線が切れても、家に引き込まれている電話線に電話を直接つなげば通話できる。通信回線、電話局が生きていれば話すが、はやとちりしない方がいい。

電話線には約五十坪の電圧がかかっているが、ひき出しの線をさわっても大丈夫だ。電話に必要な電線は電話局から供給されているので、停電規制したのが一因だ。

### 情報中継の人を決めよう

電話は生きていけるのに、他地域から関西への電話はつながらなかった。そこで、目ぐるから親類、知人同士で、連絡場所を決めておくことが有効だ。A市で災害にあつた人は、B市の親類、知人に連絡し、そこから他の都市に住む人に連絡してもらう。B市が被害にあつたらA市を連絡先にする。連絡先になつたところが中継点になつて安否情報を流せば、波瀾に巻き込まれずに連絡が取れる。

被災地から被災地の携帯電話から被災地の携帯電話へ入って、電話局の番号を共有している人同士で連絡が取り合える。しかし、これは使い方が複雑なため、非常時には使えない。岩崎通信機が、今回の震災でボランティアで始めた伝言サービスは、電話番号を暗証番号の代わりにする。プライバシーが保てない恐れはあるが、だれでも使える。NTTも採用を検討している。

携帯電話も回線が切れたら、基地局が壊れて数日使えなかつた上、電話と同じように復旧もあつた。しかし、それが復旧してからは、他地域の携帯電話から被災地の携帯電話にもつながる。

「携帯電話と違って複数のひとが同時に聞けるので災害時にはかえって役に立ち、見直されています」と近畿移動無線センターの島伊三治MCA事業部長。一般の人は使えない免許になつてはいるが、非常時は一般にも開放したら、より便利になる。

アマチュア無線も非常通信の有力な手段。車に積んで使える。ただ、今頃は、どの道がすいているか、といった道路情報を交換する無線で電波が占領され、あまり役に立たなかつた。

アマチュア無線で避難所と行政の情報交換、巡回医療隊の仕度の通信などにボランティアとして協力している防災人輔さん(58)は「地震発生直後は、非常通信を邪魔しないマナーが必要だ」という。

パソコン通信でも地震情報が大量に流された。だが被災地では、通信網の中継局が故障した上、電話が使えないからパソコン通信も使えない状態が続いた。それに、パソコンを扱っている時間もなかつた。「膨大な情報から、どれが被災地に必要かを検索する機能がなく、あまり役に立たなかつた」という声も神戸にはある。

### 他都市経由で連絡網

### 広範囲で使える無線

携帯電話にはかかりやすかつた。専用線をつながつているところが多く、電話の波瀾には影響されなかつたためだ。無線は災害には強い。業務用移動無線は地割図などで広く使われている。電波の届く範囲が携帯電話より広く、しかも複数の中継基地が重複してカバーしているから、今回

今世紀末に実用化される見通しの中低軌道通信衛星を利用した携帯電話サービスは、地上の災害には影響されず世界中心でも通信できる。現在、DDIが参加しているイリジウム計画とKDDなどが参加しているインマルサットP計画がある。ビジネス用に開発されているが、今

一方、関西からの電話はつながりやすかつた。そこで、目ぐるから親類、知人同士で、連絡場所を決めておくことが有効だ。A市で災害にあつた人は、B市の親類、知人に連絡し、そこから他の都市に住む人に連絡してもらう。B市が被害にあつたらA市を連絡先にする。連絡先になつたところが中継点になつて安否情報を流せば、波瀾に巻き込まれずに連絡が取れる。

携帯電話にはかかりやすかつた。専用線をつながつているところが多く、電話の波瀾には影響されなかつたためだ。無線は災害には強い。業務用移動無線は地割図などで広く使われている。電波の届く範囲が携帯電話より広く、しかも複数の複数の中継基地が重複してカバーしているから、今回

話したとかけ直す人が多いことだ。受話器をあけただけで交換機の機能の一部を使うから、みなが一斉にかけ直すこと、つながりにくきは加減度的に高まる。NTTは「話した中だつたらしばらく後からかけ直して」と呼び掛けたが、携帯電話に水だつた。

安否の確認にはボイスメー

携帯電話にはかかりやすかつた。専用線をつながつているところが多く、電話の波瀾には影響されなかつたためだ。無線は災害には強い。業務用移動無線は地割図などで広く使われている。電波の届く範囲が携帯電話より広く、しかも複数の複数の中継基地が重複してカバーしているから、今回

今世紀末に実用化される見通しの中低軌道通信衛星を利用した携帯電話サービスは、地上の災害には影響されず世界中心でも通信できる。現在、DDIが参加しているイリジウム計画とKDDなどが参加しているインマルサットP計画がある。ビジネス用に開発されているが、今

一方、関西からの電話はつながりやすかつた。そこで、目ぐるから親類、知人同士で、連絡場所を決めておくことが有効だ。A市で災害にあつた人は、B市の親類、知人に連絡し、そこから他の都市に住む人に連絡してもらう。B市が被害にあつたらA市を連絡先にする。連絡先になつたところが中継点になつて安否情報を流せば、波瀾に巻き込まれずに連絡が取れる。

携帯電話にはかかりやすかつた。専用線をつながつているところが多く、電話の波瀾には影響されなかつたためだ。無線は災害には強い。業務用移動無線は地割図などで広く使われている。電波の届く範囲が携帯電話より広く、しかも複数の複数の中継基地が重複してカバーしているから、今回

CQ出版社  
編集部御中

JN3JLP (JR1QZF)

小坂 雄二

吹田市千里山東2-17E-506

06-339-3021

拝啓

いつもは内容豊富な掲載記事を読んでは、いろいろと多くの知識を得らせて頂きまして心よりお礼申し上げます。

さて私共はJARL関西地方本部の呼びかけや、それ以外に自主的にアマチュア無線を運用して今回の阪神淡路大震災の災害救援非常無線を支えてきたメンバーです。

今回非常通信業務を運用し、開始当初より多くの困難や問題点が続出し、その都度いずれ最終総括が関西地方本部で行われるのでその場でお互いに討議、検討し、その結論が緊急非常通信の在るべき方向づけになることを期待しておりました。しかしながら未だ連盟本部、関西地方本部、兵庫県支部、大阪支部とも関係部署のいずれも総括、反省、更に次ぎへの発展の計画作成は行われていません。こんな事でいいのでしょうか？

にもかかわらず、JARLニュースを初めとして、貴誌のCQ誌にも多くの方がこれらに関しての記名入り投稿等がでております。この多くの方の書いた内容には一部大きな誤解した間違いのある文章であり、正しい報告文章で無いことに現場で活動した私共としては今まで、投稿した人にたいして不信感と疑問視していました。

私共の調査では今回活動したHAM局の約半分はJARLの会員ではありませんでした。そのためにもより正しい客観性のある記事が望まれ、それは活動した人が更なるボランティア活動への励みにもなり、活動しない人でも次の活動への足がかりになるものと思います。ここにマスコミの正しい報道が取りざたされているものと認識しております。

そこで私共はこの機会に、社団法人としてのJARLの正しい運営を望み非常通信運営の反省会と更なる非常通信の発展を検討するために会合をいたします。また同時に正しい報道の在り方、記名記事の取り扱い等の検討もいたしたいと思っております。これは世代交代等による価値観の多様性に対応出来なければ連盟の維持も、果ては出版物の維持も出来なくなる等の奇愚を憎越ながらするからであります。

出席者はJARLの海老澤 専務理事、他本部責任者、関西地方本部長、大阪府支部長、兵庫県支部長、岡山県支部長の各委員と非常通信運用にあたった各地区コントロール局の8地区の責任者及びそれに準ずる人をそれぞれ各局で2-3人を予定しています。

これに貴社の出席を望み正しい内容に触れていただく事は今後の正しい報道、取材にも大きな参考になることと考えご案内いたします。

時：7月15日(土) 14.00より

所：JARL関西地方本部会議室

敬具